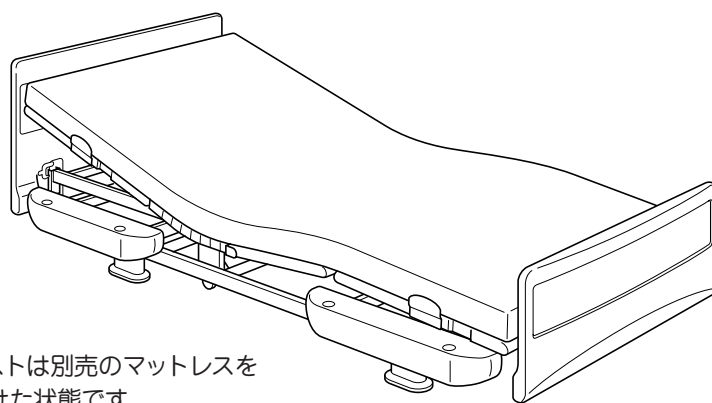


取扱説明書

7F06205100A1

在宅ケアベッド 楽匠



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

まえがき

このたびは、在宅ケアベッド楽匠をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立・分解の方法や使用方法などを記載しています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問合せください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

	ページ
1 各部の名称	3
2 安全に使用するための注意事項	4～10
3 仕様	11～13
4 ベッドの使用方法	14
5 動作の説明	15～16
6 手元スイッチの使いかた	17～22
7 背膝連動切換操作について(2モーターシリーズ)	23
8 ユニットの組合せ	24～26
9 設置について	27
10 開梱と部品の確認	28～29
11 ベッドの組立方法	
1.脚座の取付け	30
2.「キャスター・ハイトスペーサー」(別売)の取付け	31～32
3.駆動部の取付け	33～34
4.アクセサリ一枠の取付け	35～36
5.キューマボトム取付け	37
6.背ボトム取付け	38
7.足ボトム取付け	39
8.マットレス止めの取付け	40
9.ヘッドボード・フットボードの取付け	41
12 組立て後の点検	42～43
13 マットレスの使用法とご注意	44
14 オプションの取付けとご注意	
1.介助バー・サイドレール・サイドサポートについて.....	45～46
2.オーバーテーブル・キャスター・ハイトスペーサーについて	46
15 介護リフト使用時のご注意	47
16 手動による背さげ操作(停電・故障時などの対応)	
1.背さげのしかた	48
2.戻しかた.....	49

	ページ
17 日常のお手入れ	50
18 故障かな?と思ったら	51
19 長期保管と移動(移設)について	52
20 ベッドの分解方法	
1.オプション・寝具の取外し	53
2.手元スイッチの操作	53
3.ヘッドボード・フットボードの取外し	54
4.マットレス止めの取外し	54
5.足ボトム of 取外し	55
6.背ボトム of 取外し	56
7.キューマボトム of 取外し	56
8.アクセサリ一枠 of 取外し	57
9.駆動部の取外し	58～59
10.付属部品と分解したユニットの保管	60
21 アフターサービスについて	61～62

使用目的・特長

■楽匠はご家庭で介護を行うことを目的として作られたベッドです。

ご使用上、次のような特長があります。

1.伸びてやさしく曲がるキューマラインを採用

- 背をあげた時の腹部の圧迫感を軽減、背をあげた時の快適さが増しました。

2.手元スイッチ操作でベッドポジションを自在にコントロール

- ボタン操作で適切な体位がとれます。また、介護する方の負担を軽減します。
- 背あげ、高さ調節の速度を2段階に調節できます。

3.静粛性にすぐれたベッドです

- 専用が開発されたリニアアクチュエーターを採用しています。

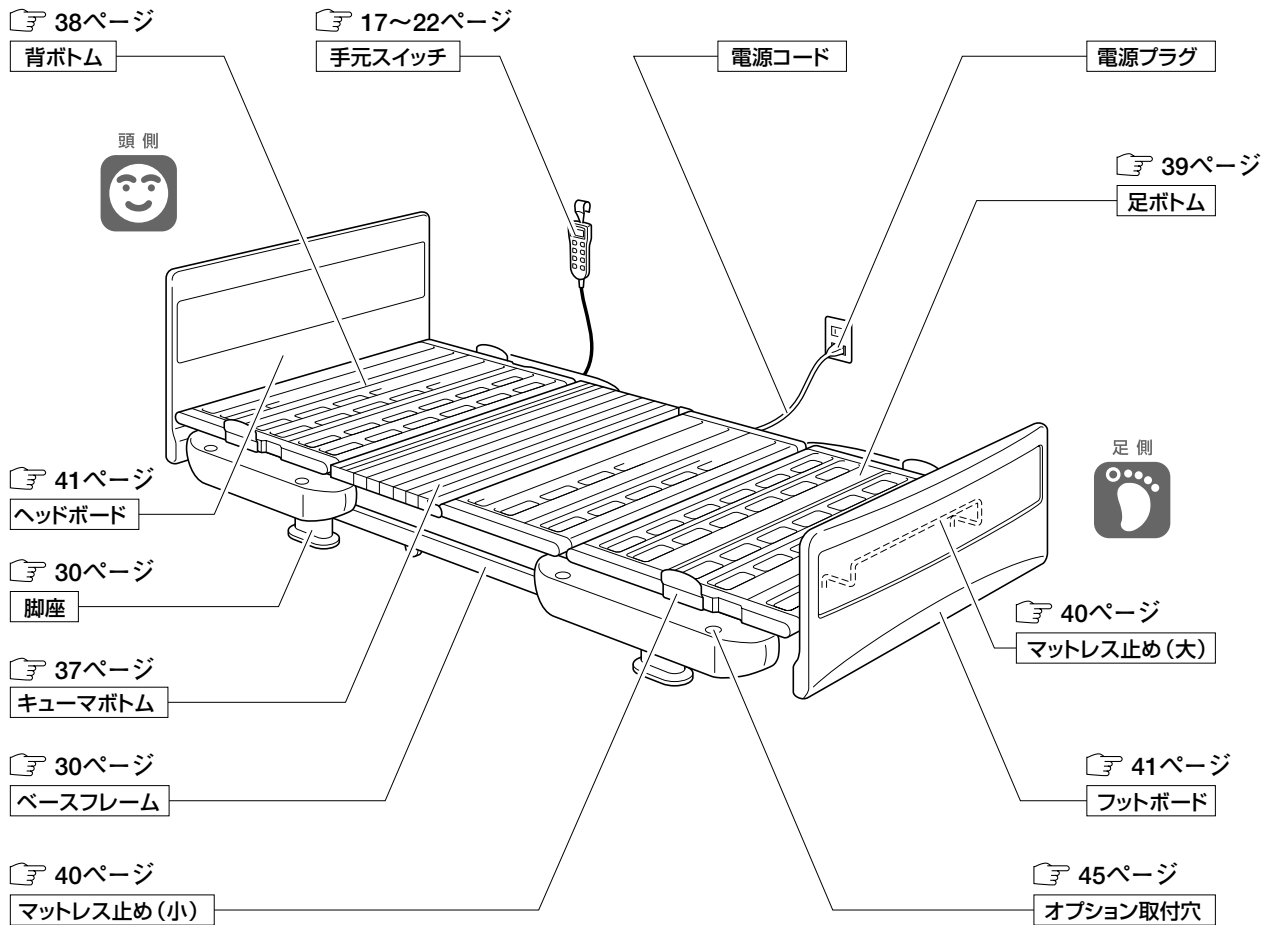
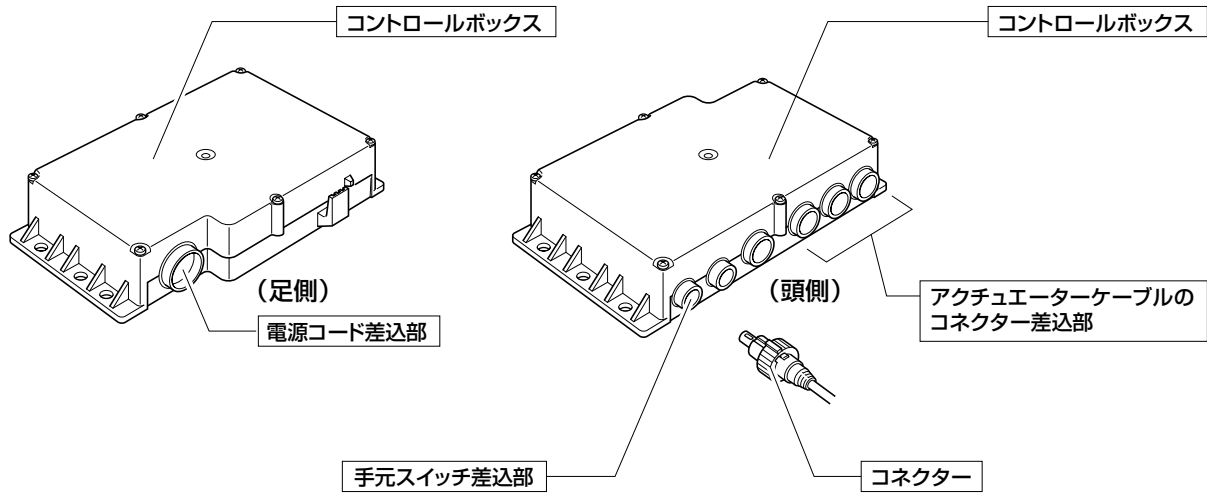
4.居住性を重視したケアベッドです

- サイドレール、オーバーテーブルをご使用になると、ベッド上での食事・読書等が可能です。

1 各部の名称



このマークの数字は、
説明のあるページを示しています。



2 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、生命にかかわるけがを負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人がけがを負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〔絵表示の例〕



△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は「感電注意」）が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や回りに具体的な禁止内容（左図の場合は「分解禁止」）が描かれています。

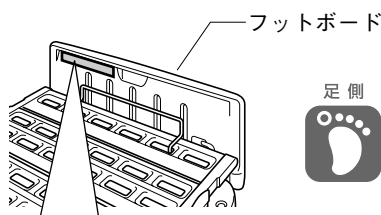


● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は使用者の行為の強制「電源プラグを抜く」）が描かれています。

※取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

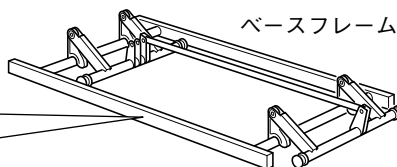
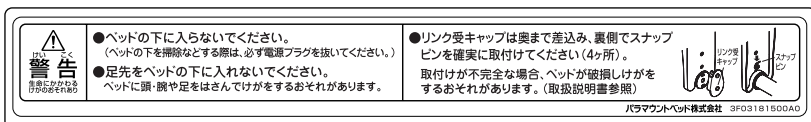
〔安全ラベルについて〕

安全ラベル貼付位置



●注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてフットボードの内側とベースフレームの側面に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。

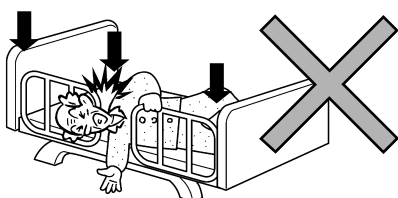
●安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しい安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。



2 安全に使用するための注意事項



■ サイドレールやボードのすき間(↓)に身体の一部 (特に頭や首)が入らないよう注意してください



- 頭や首がすき間に入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。
- 特に体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■ サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください

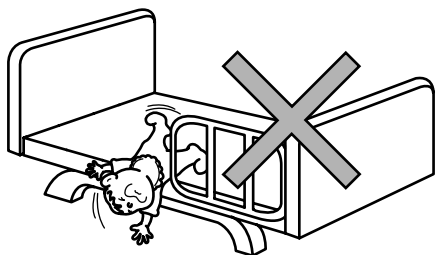
- サイドレールとサイドレール、各ボードとサイドレールのすき間から転落したり、サイドレールの上から身をのり出して転落し、けがをするおそれがあります。

■ ベッドの外に頭、手や足などを出さないでください



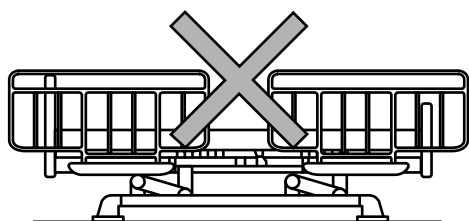
- ベッドの操作時に、操作した部分にはさまれてけがをするおそれがあります。

■ 乳幼児には使用しないでください



- サイドレール等のすき間から転落するおそれがあります。

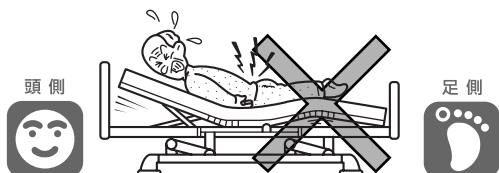
■ サイドレールを取付けの際は、ヘッドボード・フットボードから大きくとび出さない向きに取付けてください



- とび出したサイドレールでけがをするおそれがあります。

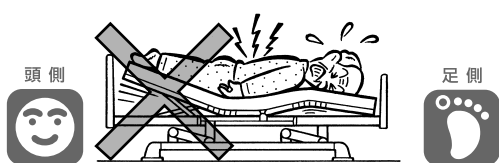
けい こく 警告

■うつ伏せで寝た状態での角度調節は行わないでください



- 関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

■ベッドは正しい向きで使用してください



- ベッドの頭側、足側を間違えて寝るとポジション操作の際、無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。

■ベースフレームに足をかけないでください



- ベースフレームに足をかけたり、足先を入れたりしないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。

■12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方に操作させないでください

- 12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方（認知症の方など）が1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜いたり、手元操作選択スイッチ（20ページ参照）で操作を禁止するなどして誤操作による事故を未然に防いでください。
- 手元操作を禁止させる機能は、リセットスイッチを押した場合、初期状態に戻り操作可能になりますのでご注意ください。

■ベッドの下に潜り込んだり、頭、手や足を入れないでください



- ベッドの可動部分とフレームやサイドレールとの間にはさまれてけがをするおそれがあります。ベッド操作はベッドの周りに障害物がないことを確認して行ってください。

2 安全に使用するための注意事項

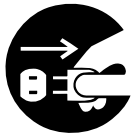


■ 電動操作中はベッドのフレームとボトムの間などに手(指)や足を入れないでください



- さがってきたボトムとベッドのフレームやボードなどの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

■ 掃除などベッドの下に入る際は電源プラグを抜いてください



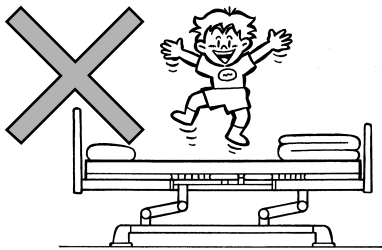
プラグを抜く

- 誤操作によりフレームにはさまれて、けがをするおそれがあります。

■ 踏み台がわりにしないでください

- ベッドから転落、転倒してけがをするおそれがあります。

■ ベッドの上で飛び跳ねないでください



- けがや故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

■ 水などをこぼさないでください

- アクチュエーターや手元スイッチなどの電装品に、水などがかかると、ショートによる感電や誤動作のおそれがあります。

■ 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください

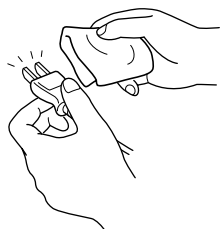


感電注意

- ショートして感電・故障のおそれがあります。

警告

■電源プラグにホコリを付着させないでください



- 電源プラグの表面にホコリが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火するおそれがあります。
- 電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

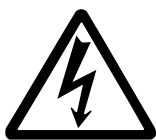
■お客様による修理・改造はしないでください



分解禁止

- 異常動作して、けがをするおそれがあります。

■電源コード類を傷つけないでください



感電注意

- ベッドで電源コードを踏みつけないでください。
- 電源コード類に、重いものを置いたり無理な力を加えないようにしてください。また、ベッドの可動部にコード類をはさまないようにしてください。コードが破損し、感電、火災のおそれがあります。
- 傷んだコードは修理（交換）を依頼してください。

■電源コードや手元スイッチのコードに足を引掛けないようにしてください

- プラグやコードが痛むことで漏電し、感電するおそれがあります。
- 転倒して、けがをするおそれがあります。

■電子治療器を使用するときは必ず電源プラグを抜いてください



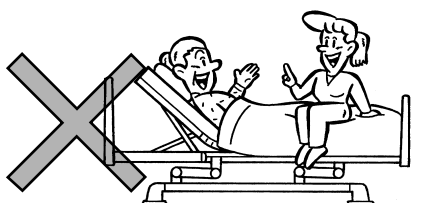
プラグを抜く

- 電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器等）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。
- なお、他の医用電気機器と併用する際は、安全をご確認の上で使用ください。

2 安全に使用するための注意事項

⚠️ 注意

■2人以上で使用しないでください



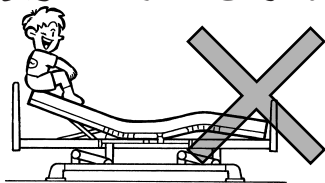
●このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用しないでください。ベッドが破損してけがをするおそれがあります。一時的に、介助者がベッドにのる必要がある場合は、つぎの点を確認してください。

○ベッドにかかる荷重が最大使用者体重(135kg)をこえていないこと

○ボトムがさがって平らになっていること

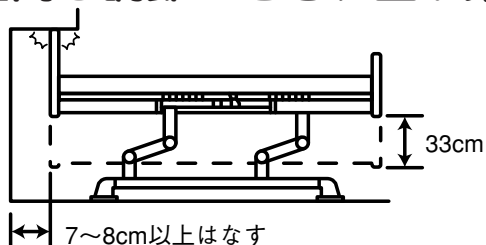
●介助者がベッドにのる機会の多い場合は、必ずベッドの定期点検を受けてください。

■あがっているボトムに乗らないでください



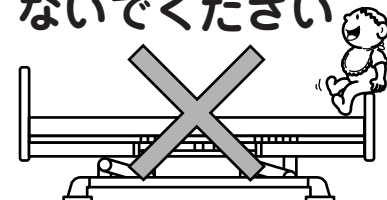
●ボトムの支持部に大きな力がかかり、変形、破損の原因となります。

■高さ調節のとき、壁や梁に気をつけてください



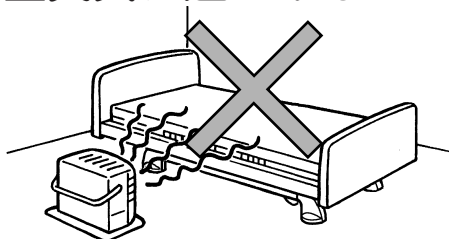
●ベッドは高さ調節操作で、上下に約33cm、前後に約6cm動きます。ご使用の際には、この高さ調節でベッドが壁や梁にあたらないことをご確認ください。特に壁からは必ず7~8cm以上はなして設置してください。

■サイドレールやヘッドボード・フットボードに腰掛けたりしないでください



●ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが破損・変形してけがをするおそれがあります。

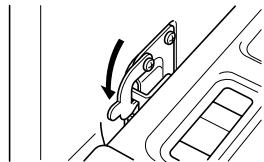
■火気に近づけないでください



●ベッドの近くでの、ストーブなど熱器具の使用は避けてください。変質、変形、発火等の原因となります。

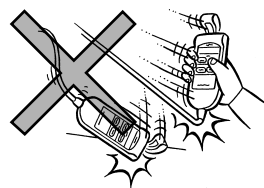
ちゅう い 注意

■ヘッド・フットボードは必ずストッパーをかけてください



- ボードの取付けが不完全な場合、体を支えるためボードにつかまったときなどに、不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。

■手元スイッチを傷つけないでください



- ショートによる誤動作のおそれがあります。
- 傷んだ手元スイッチは修理を依頼してください。

■スプレータイプの殺虫剤をベッドに直接噴射しないでください

- 殺虫剤に含まれる溶剤によってベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■ベッドは定期的に点検してください

- 使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部の緩み、可動部の動作、キャスター（特にロック）、破損の有無等を点検してください。

■被災したベッドは販売店に点検・修理をご依頼ください

- 地震・火事・水害等で被災したベッドは、電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によってけがをするおそれがあります。

■治療中の方は医師に相談をしてください

- 現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

■弊社が指定する適合品以外の製品とは組合わせないでください

- 弊社が指定する適合品以外の製品と組合わせると、けがや故障の原因となります。

■電源プラグを持って抜いてください



プラグを抜く

- コンセントから抜く際、電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで感電するおそれがあります。

■ベッド操作時は周囲を確認してください

- ポジション操作によって周囲の物を破損させたり、ベッドを破損・変形させる原因となります。

3仕 様

らくらくモーションシリーズ

ヘッド本体	83幅 ミニ	型番	KQ-86000	KQ-86010	KQ-86020	KQ-860B0	KQ-860S0	KQ-86030	KQ-86040	
		寸法(cm)	全幅92.8×全長193.5						全幅92.8×全長192	
		製品質量	約81kg						約84kg	
	83幅 レギュラー	型番	KQ-86100	KQ-86110	KQ-86120	KQ-861B0	KQ-861S0	KQ-86130	KQ-86140	
		寸法(cm)	全幅92.8×全長204.5						全幅92.8×全長203	
		製品質量	約82kg						約86kg	
	83幅 ロング	型番	KQ-86A00	KQ-86A10	KQ-86A20	KQ-86AB0	KQ-86AS0	KQ-86A30	KQ-86A40	
		寸法(cm)	全幅92.8×全長218.5						全幅92.8×全長217	
		製品質量	約83kg						約88kg	
	91幅 ミニ	型番	KQ-86200	KQ-86210	KQ-86220	KQ-862B0	KQ-862S0	KQ-86230	KQ-86240	
		寸法(cm)	全幅99.8×全長193.5						全幅99.8×全長192	
		製品質量	約83kg						約86.5kg	
	91幅 レギュラー	型番	KQ-86300	KQ-86310	KQ-86320	KQ-863B0	KQ-863S0	KQ-86330	KQ-86340	
		寸法(cm)	全幅99.8×全長204.5						全幅99.8×全長203	
		製品質量	約84kg						約87.5kg	
	91幅 ロング	型番	KQ-86B00	KQ-86B10	KQ-86B20	KQ-86BB0	KQ-86BS0	KQ-86B30	KQ-86B40	
		寸法(cm)	全幅99.8×全長218.5						全幅99.8×全長217	
		製品質量	約86kg						約89.5kg	
床高 (cm)		25~58 (ゆかからボトム面まで)								
モーター数		3モーター								
手元スイッチ		液晶タイプ8ボタン								
主な材質	ボード	ポリプロピレン (PP)		PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)	PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)	MDF木目シート (ライト)	MDF木目シート (ダーク)	
		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)								
	アクセサリ	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)							
	オプション受	カバー	ポリプロピレン (PP)		PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)	PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)		
	ボトム	駆動部	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)							
ベースフレーム										
最大使用者体重		135kg								
安全動作荷重		1700N(174kgf)								
動作保証条件	温度	10℃~40℃								
	湿度	30~75%RH								

背あげ	傾斜角度	0~約75°							
	電源	AC100V、50/60Hz							
	消費電力	115W以下							
	昇降時間	約26秒(ふつう) / 約20秒(はやい)							
	連続使用時間	約5分							
	モーター形式	DCモーター							

膝あげ	傾斜角度	0~約30°							
	電源	AC100V、50/60Hz							
	消費電力	80W以下							
	昇降時間	約11秒							
	連続使用時間	約5分							
	モーター形式	DCモーター							

高さ調節	調節量	約33cm							
	電源	AC100V、50/60Hz							
	消費電力	170W以下							
	昇降時間	約32秒(ふつう) / 約22秒(はやい)							
	連続使用時間	約5分							
	モーター形式	DCモーター							

3モーターシリーズ

ヘッド本体	83幅 ミニ	型番	KQ-83000	KQ-83010	KQ-83020	KQ-830B0	KQ-830S0	KQ-83030	KQ-83040	
		寸法(cm)	全幅92.8×全長193.5						全幅92.8×全長192	
		製品質量	約81kg						約84kg	
	83幅 レギュラー	型番	KQ-83100	KQ-83110	KQ-83120	KQ-831B0	KQ-831S0	KQ-83130	KQ-83140	
		寸法(cm)	全幅92.8×全長204.5						全幅92.8×全長203	
		製品質量	約82kg						約86kg	
	83幅 ロング	型番	KQ-83A00	KQ-83A10	KQ-83A20	KQ-83AB0	KQ-83AS0	KQ-83A30	KQ-83A40	
		寸法(cm)	全幅92.8×全長218.5						全幅92.8×全長217	
		製品質量	約83kg						約88kg	
	91幅 ミニ	型番	KQ-83200	KQ-83210	KQ-83220	KQ-832B0	KQ-832S0	KQ-83230	KQ-83240	
		寸法(cm)	全幅99.8×全長193.5						全幅99.8×全長192	
		製品質量	約83kg						約86.5kg	
	91幅 レギュラー	型番	KQ-83300	KQ-83310	KQ-83320	KQ-833B0	KQ-833S0	KQ-83330	KQ-83340	
		寸法(cm)	全幅99.8×全長204.5						全幅99.8×全長203	
		製品質量	約84kg						約87.5kg	
91幅 ロング	型番	KQ-83B00	KQ-83B10	KQ-83B20	KQ-83BB0	KQ-83BS0	KQ-83B30	KQ-83B40		
	寸法(cm)	全幅99.8×全長218.5						全幅99.8×全長217		
	製品質量	約86kg						約89.5kg		
床高 (cm)		25~58 (ゆかからボトム面まで)								
モーター数		3モーター								
手元スイッチ		6ボタン								
主な材質	ボード	ポリプロピレン (PP)	PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)	PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)	MDF木目シート (ライト)	MDF木目シート (ダーク)		
	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)								
	アクセサリ・オプション受カバ	ポリプロピレン (PP)			PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)	PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)		
	ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ (一部樹脂成形品)								
	駆動部									
ベースフレーム										
最大使用者体重		135kg								
安全動作荷重		1700N(174kgf)								
動作保証条件	温度	10℃~40℃								
	湿度	30~75%RH								

背あげ	傾斜角度	0~約75°							
	電源	AC100V、50/60Hz							
	消費電力	115W以下							
	昇降時間	約26秒(ふつう) / 約20秒(はやい)							
	連続使用時間	約5分							
	モーター形式	DCモーター							

膝あげ	傾斜角度	0~約30°							
	電源	AC100V、50/60Hz							
	消費電力	80W以下							
	昇降時間	約11秒							
	連続使用時間	約5分							
	モーター形式	DCモーター							

高さ調節	調節量	約33cm							
	電源	AC100V、50/60Hz							
	消費電力	170W以下							
	昇降時間	約32秒(ふつう) / 約22秒(はやい)							
	連続使用時間	約5分							
	モーター形式	DCモーター							

3仕 様

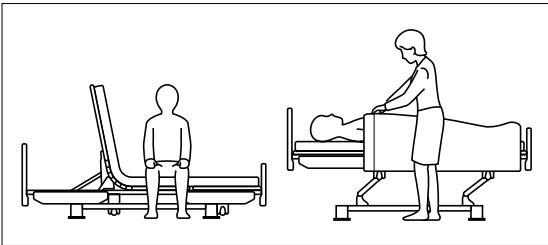
2モーターシリーズ

ヘッド本体	83幅 ミニ	型番	KQ-82000	KQ-82010	KQ-82020	KQ-820B0	KQ-820S0	KQ-82030	KQ-82040	
		寸法(cm)	全幅92.8×全長193.5						全幅92.8×全長192	
		製品質量	約80kg						約83kg	
	83幅 レギュラー	型番	KQ-82100	KQ-82110	KQ-82120	KQ-821B0	KQ-821S0	KQ-82130	KQ-82140	
		寸法(cm)	全幅92.8×全長204.5						全幅92.8×全長203	
		製品質量	約81kg						約85kg	
	83幅 ロング	型番	KQ-82A00	KQ-82A10	KQ-82A20	KQ-82AB0	KQ-82AS0	KQ-82A30	KQ-82A40	
		寸法(cm)	全幅92.8×全長218.5						全幅92.8×全長217	
		製品質量	約82kg						約87kg	
	91幅 ミニ	型番	KQ-82200	KQ-82210	KQ-82220	KQ-822B0	KQ-822S0	KQ-82230	KQ-82240	
		寸法(cm)	全幅99.8×全長193.5						全幅99.8×全長192	
		製品質量	約82kg						約85.5kg	
	91幅 レギュラー	型番	KQ-82300	KQ-82310	KQ-82320	KQ-823B0	KQ-823S0	KQ-82330	KQ-82340	
		寸法(cm)	全幅99.8×全長204.5						全幅99.8×全長203	
		製品質量	約83kg						約86.5kg	
	91幅 ロング	型番	KQ-82B00	KQ-82B10	KQ-82B20	KQ-82BB0	KQ-82BS0	KQ-82B30	KQ-82B40	
		寸法(cm)	全幅99.8×全長218.5						全幅99.8×全長217	
		製品質量	約85kg						約88.5kg	
	床高 (cm)		25~58(ゆかからボトム面まで)							
	モーター数		2モーター							
	手元スイッチ		4ボタン							
主な材質	ボード	ポリプロピレン (PP)	PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)	PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)	MDF木目シート (ライト)	MDF木目シート (ダーク)		
	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)								
	アクセサリ・オプション受カバ	ポリプロピレン (PP)			PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)	PP木目シート (ライト)	PP木目シート (ダーク)		
	ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)								
	駆動部									
ベースフレーム										
最大使用者体重		135kg								
安全動作荷重		1700N(174kgf)								
動作保証条件	温度	10℃~40℃								
	湿度	30~75%RH								
背あげ	傾斜角度	0~約75°								
	電源	AC100V、50/60Hz								
	消費電力	115W以下								
	昇降時間	約26秒(ふつう) / 約20秒(はやい)								
	連続使用時間	約5分								
	モーター形式	DCモーター								
膝あげ	傾斜角度	0~約20° (背膝連動時)								
	電源	—								
	消費電力	—								
	昇降時間	—								
	連続使用時間	—								
	モーター形式	—								
高さ調節	調節量	約33cm								
	電源	AC100V、50/60Hz								
	消費電力	170W以下								
	昇降時間	約32秒(ふつう) / 約22秒(はやい)								
	連続使用時間	約5分								
	モーター形式	DCモーター								

4 ベッドの使用方法

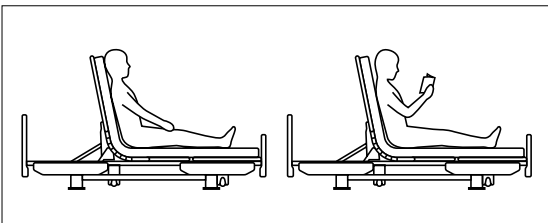
■動きを理解していただくために、サイドレールなどを取外した状態で描いてあります。

高さ調節



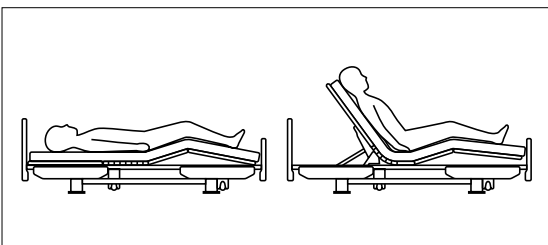
- 座ってかかとが着く位の高さに調節すると、ベッドから立ちあがりやすくなります。
- 車椅子の座面の高さにベッドの高さを合わせると、移乗が楽に行えます。
- 適度な高さまでベッドをあげると、楽な姿勢で介護できます。

背あげ



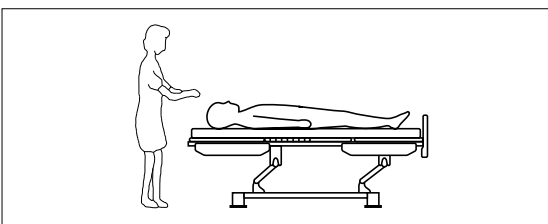
- ベッドからの起きあがりに役立ちます。
- ベッド上での食事、読書などに便利です。

膝あげ



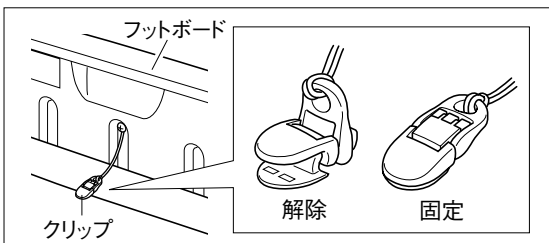
- 背あげを行う場合、先に膝をあげておくと体のずれを少なくできます。
(3モーターシリーズ)
- 背と膝の角度を適度にあげると、体に負担のかかりにくい楽な姿勢がとれます。
(2モーターシリーズは連動)

ボードの取外し



- ヘッドボード・フットボードが取外せますので、シーツ交換、体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。

毛布とめ



- 毛布や掛け布団をクリップでとめることにより、ベッドから落ちにくくします。
- 毛布や掛け布団を強く引っ張ると、クリップが外れたり、毛布や掛け布団が破れる場合があります。

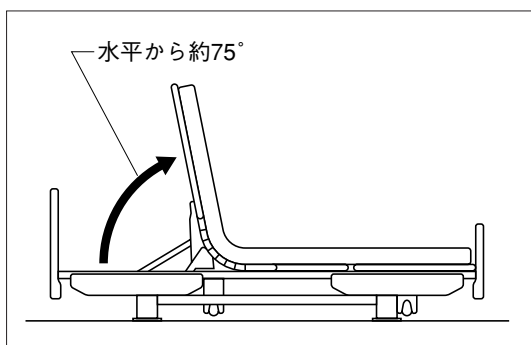


注記

5 動作の説明

■ベッドの背ボトム、足ボトムの角度やベッド全体の高さを、電動操作で無段階に調節できます。手元スイッチのボタンを押すと動き、はなすとその位置で止まります。必要な位置まで動かして、ベッドをお使いください。

背あげ

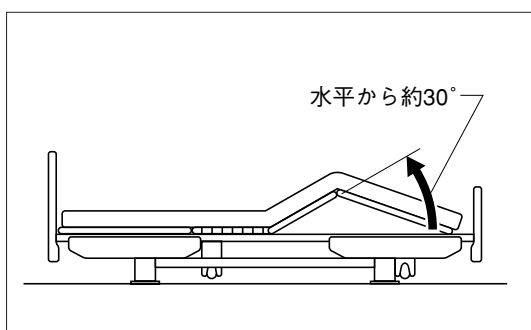


- 背ボトムの角度を調節できます。
ベッドの背もたれ部分が、水平から約75°まで調節できます。

2モーターシリーズのみ

- 切換レバー操作(23ページ参照)により、背と連動して膝部が約20°まであがります。

膝あげ



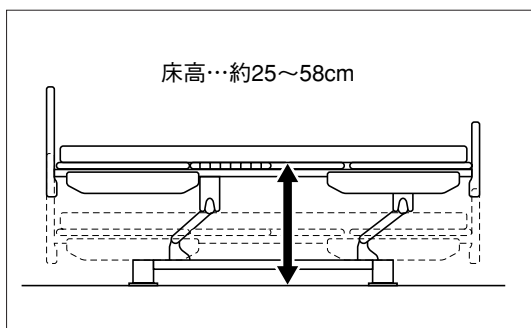
らくらくモーション・3モーターシリーズのみ

- 足ボトムの膝部角度を調節できます。
足ボトムの膝部が、水平から約30°まで調節できます。



- 2モーターシリーズは、膝部のみの調節はできません。

高さ調節



- ベッドの高さを調節できます。ゆかからボトム面までの高さを、約25cmから約58cmまで調節できます。



- らくらくモーション・3モーターシリーズは角度制限機能により、背ボトムと膝ボトムの間の角度が90°以下にならないように動作します。背ボトム(膝ボトム)をあげていくと、背ボトムと膝ボトムの間の角度が常に90°以上になるように、膝ボトム(背ボトム)がさがります。

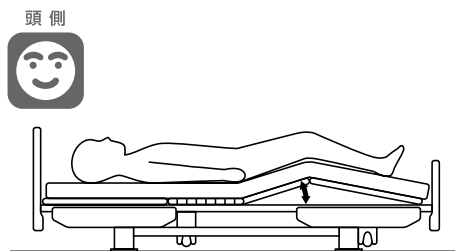
らくらくモーション

■らくらくモーションは背あげ時、さげ時の圧迫感やずれを軽減し、より良い姿勢を保つことを目的とした機能です(らくらくモーションシリーズのみ)。ご使用上、次のような特長があります。

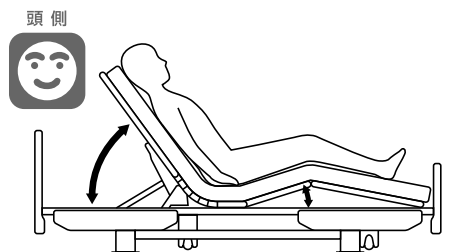
- 背あげ時の圧迫感を大幅に軽減します。
- 背あげ時のからだのずれを大幅に軽減します。
- 背あげ時の姿勢をしっかり保持します。

らくらくモーションあげ時

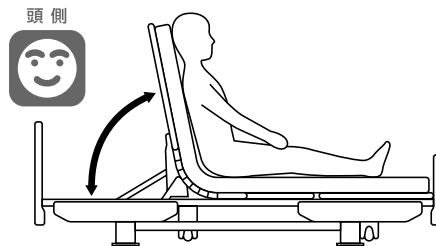
- ①膝が先行して約25°まであがります。



- ②膝が約25°のままで一度止まり、背があがります。背が約40°まであがると膝がさがりはじめます。



- ③背が約75°まであがるのとほぼ同時に膝が水平までさがります。



らくらくモーションさげ時

- ③背・膝が水平までさがります。

- ②膝が約25°のままで一度止まります。背が約15°までさがると膝がさがり始めます。

- ①背がさがり始めるのとほぼ同時に膝があがり始めます。

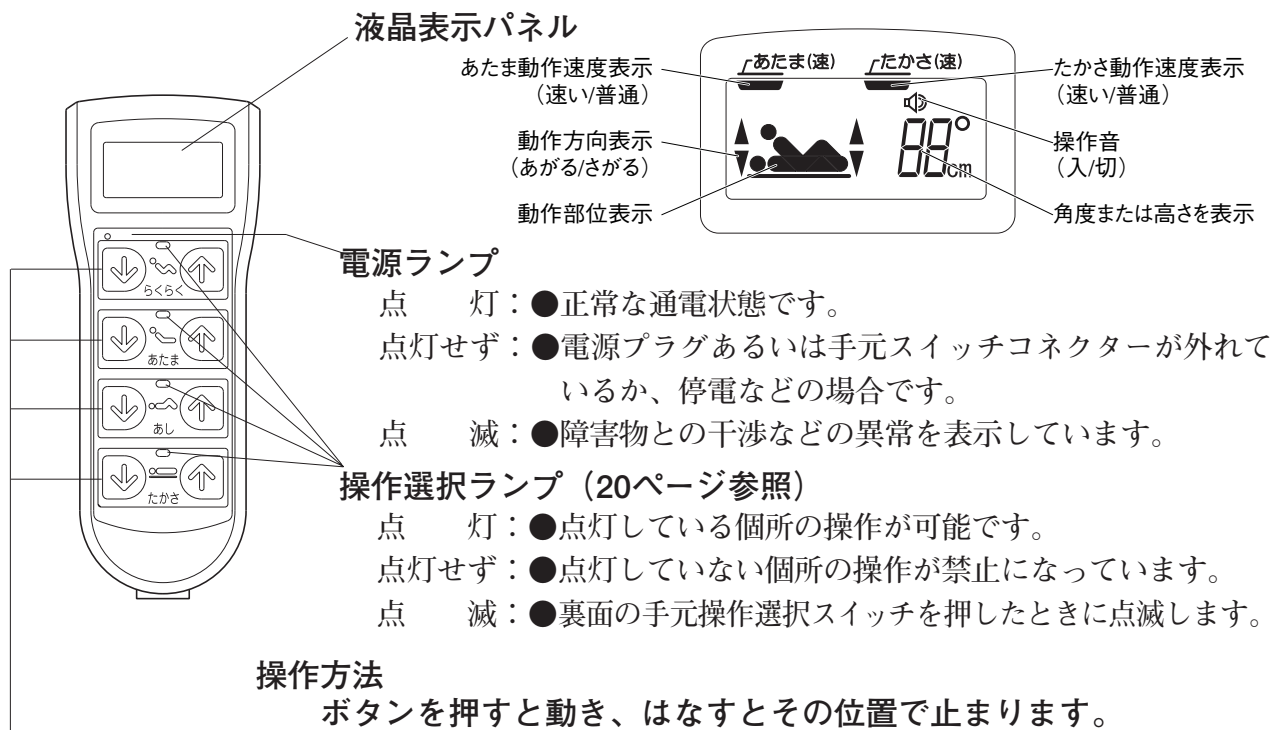
6 手元スイッチの使いかた

■手元スイッチ操作によって、ベッドの背ボトムの角度、足ボトムの膝部角度、ベッド全体の高さを無段階に調節できます。



●12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方(認知症の方など)が1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜いたり、手元操作選択スイッチ(20ページ参照)で操作を禁止するなどして誤操作による事故を未然に防いでください。

らくらくモーションスイッチ



操作ボタン

- らくらく：らくらくモーションのあげさげボタン
●背あげ・さげの際、膝ボトムが適切に動作します。
- あ た ま：背のあげさげボタン
●背ボトムの角度調節ができます。
- あ し：膝のあげさげボタン
●膝ボトムの角度調節ができます。
- た か さ：ベッドのあげさげボタン
●ベッドの高さ調節ができます。



- 液晶表示パネルは、操作後約20秒経過すると表示内容が自動的に消えます。
- 操作していないのに電源ランプが点滅するときは、何らかの異常があるときです。51ページを参考に確認を行ってください。
- 2つ以上のボタンを同時に押した場合、安全のため誤操作とみなし動きません。

■液晶表示パネルについて

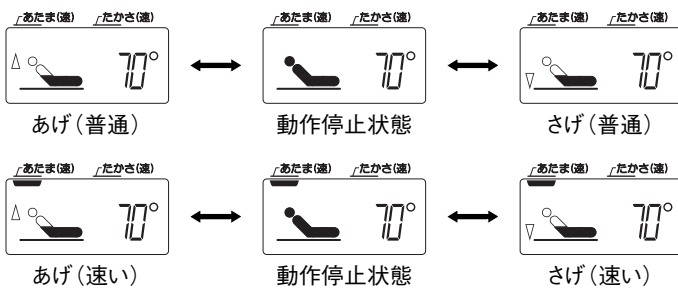
- ベッドの動作情報は、液晶表示で確認することができます。
- 白抜きの個所が点滅表示されます。

らくらくモーション



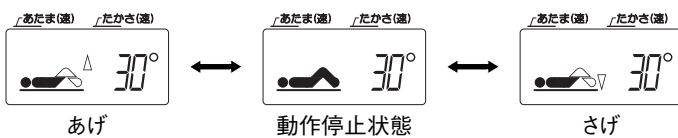
- 背動作角度が2°ごとに表示されます。膝動作角度は表示されません。

背あげ



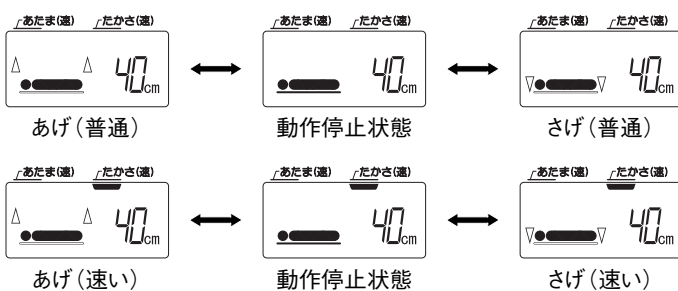
- 背動作角度が2°ごとに表示されます。

膝あげ



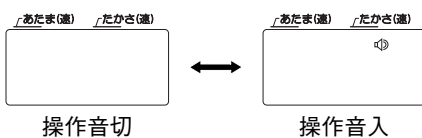
- 膝動作角度が2°ごとに表示されます。

高さ調節



- 高さが2cmごとに表示されます。

操作音



- 操作音入・切を示しています。

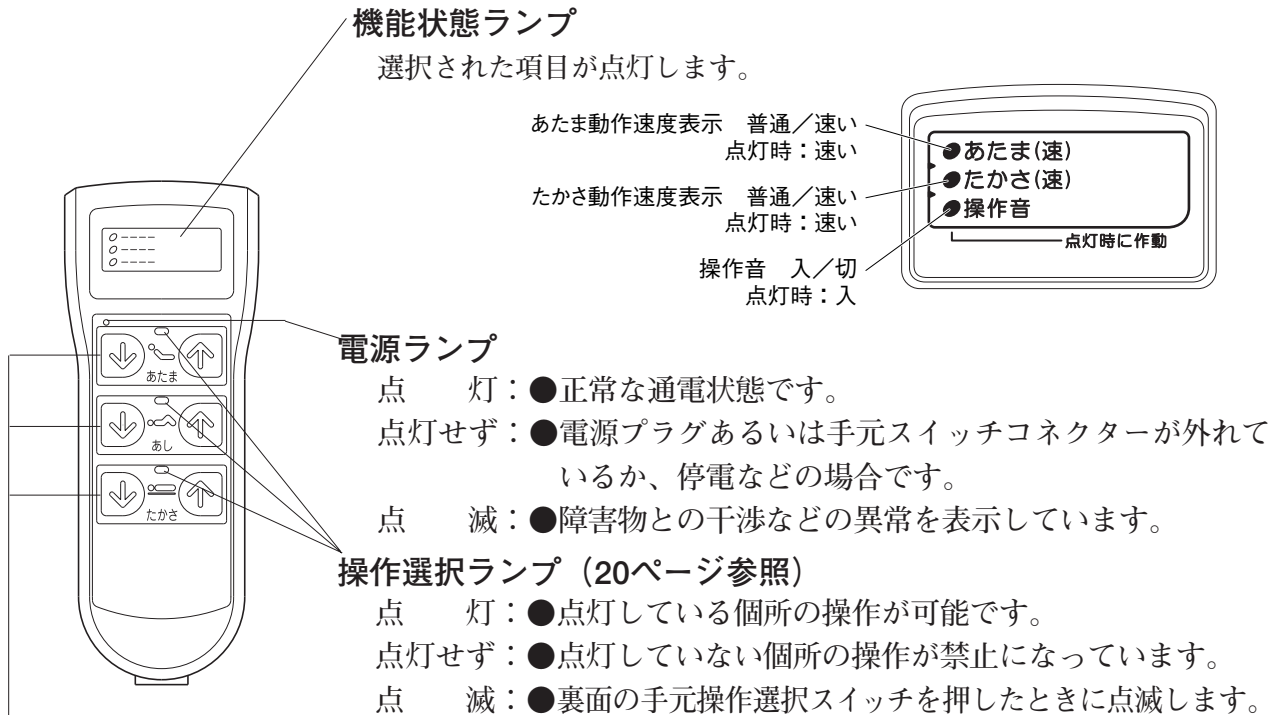


- 表示される数値（角度・高さ）は、目安としてください。
- 0°～約4°の範囲にある場合は「--」が表示されます。
- 数値表示部に「H4」などの値が現れた場合はエラーコードを表示しています。51ページを参考に、確認を行ってください。

6 手元スイッチの使いかた

3モーター・2モータースイッチ

※下図は3モータースイッチです。



操作方法

ボタンを押すと動き、はなすとその位置で止まります。

操作ボタン

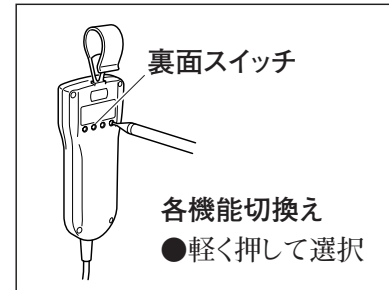
- あ た ま：背のあげさげボタン
● 背ボトムの角度調節ができます。
- あ し：膝のあげさげボタン (3モータースイッチのみ)
● 膝ボトムの角度調節ができます。
- た か さ：ベッドのあげさげボタン
● ベッドの高さ調節ができます。



- 操作していないのに電源ランプが点滅するときは、何らかの異常があるときです。
51ページを参考に確認を行ってください。
- 2つ以上のボタンを同時に押した場合、安全のため誤操作とみなし動きません。

裏面スイッチ

■手元スイッチ裏面にある各スイッチで、下記の機能切換えおよびリセットを行うことができます。



手元操作選択

●手元スイッチによるベッド操作の(可能/禁止)を動作個所ごとに交互に切換えることができます。

速さ切換 普通/速い

●背ボトムとベッドの高さをあげさげする速さ(普通/速い)を切換えることができます。

操作音 入/切

●手元スイッチ操作時の操作音(入/切)を交互に切換えることができます。

リセット

●裏面スイッチの設定内容を初期状態に戻すことができます。



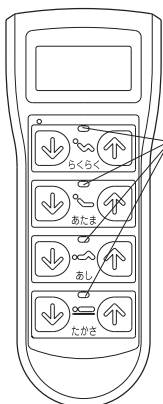
●2006年5月以前に製造された手元スイッチをご使用の場合は、裏面スイッチの速さ切換およびリセットの操作が異なります(詳細は22ページ参照)。

注意

●裏面スイッチの切換えは、先の細いもの(鋭利なものを除く)でスイッチを軽く押して行ってください。ただしシャープペンシルを利用する場合は、芯を出したままで行わないでください。芯が折れて手元スイッチの故障の原因となります。

■手元操作選択スイッチ

手元スイッチ裏面にある手元操作選択スイッチを操作することで、らくらく・あたま・あし・たかさそれぞれのボタン操作を禁止にすることができます。



操作選択ランプ

点灯：操作可能
点灯せず：操作禁止
点滅：選択状態

- 裏面にある手元操作選択スイッチを1回押してください。
- 操作選択ランプが点滅します。ボタン操作を禁止にしたい個所のボタン(「らくらく」「あたま」「あし」「たかさ」)のあげ・さげを押すと、操作選択ランプが消え、操作禁止になります。もう1度押すと点灯し、操作可能となります。
- 全ての操作の選択が完了しましたら、裏面の手元操作選択スイッチを1回押してください。



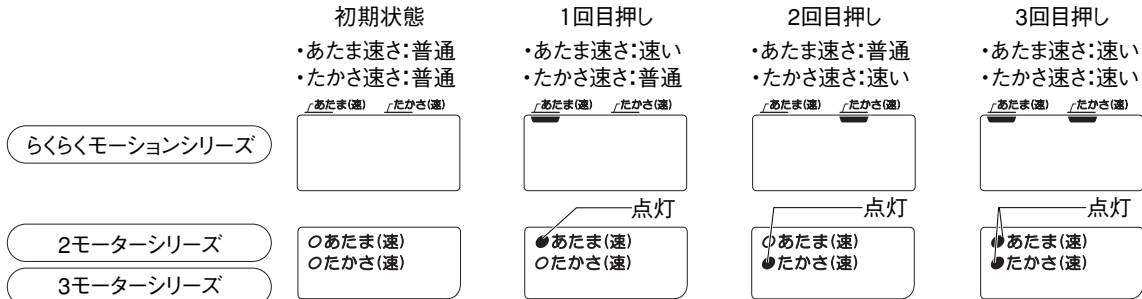
- 手元操作選択スイッチを押して、操作選択ランプが点滅している時間は、約30秒です。この間に操作を選択してください。選択しなかった場合は、全ての操作が可能となります。
- 手元操作選択スイッチを1回押し、操作選択ランプが点滅した時点で、それまでの選択内容は取消されます。

6 手元スイッチの使いかた

■ 速さ切換スイッチ

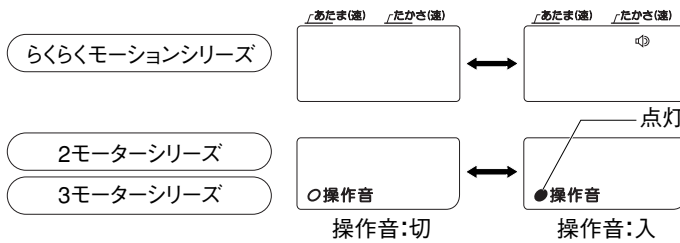
● 背ボトムとベッドの高さをあげさげする速さを2通り（普通/速い）選ぶことができます。

「速い」は「普通」の約1.5倍の速さで動作します。



※4回目押しで、初期状態に戻ります。

■ 操作音入/切(切換)スイッチ



● 手元スイッチ操作時の操作音（入/切）を選ぶことができます。

■ リセットスイッチ

● 裏面スイッチの設定内容を、全て初期状態（下記参照）に戻すことができます。

● 裏面スイッチの初期状態（何も選択していない状態）は、次の通りです。

- ・ 手元操作選択：すべての操作が可能
- ・ 速さ切換：普通（あたま・たかさ）
- ・ 操作音：入



● 停電後や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜いた場合も、裏面スイッチで設定した内容は取り消されません。

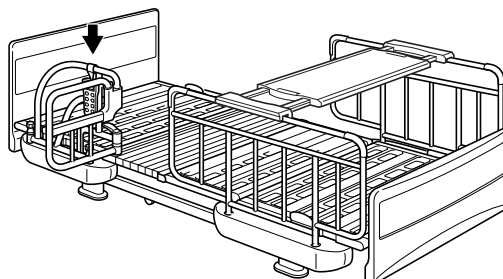
● 初期状態に戻りたい場合は、リセットスイッチを押してください。

注意

● 2006年5月以前に製造されたコントロールボックスをご使用の場合は、停電後や電源プラグ、手元スイッチプラグを抜くと、裏面スイッチで設定した内容はすべて初期状態に戻ります。操作禁止を設定していた場合でも、初期状態に戻ると操作可能になりますのでご注意ください。（製造年月の識別方法は22ページ参照）

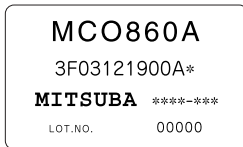
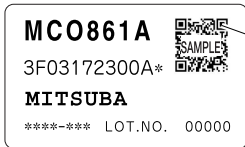




■ 手元スイッチを掛ける場所

● 手元スイッチを使用しないときは放置せず、誤って操作ボタンに触れることを防ぐため、フックを利用して、サイドレールなどに掛けてください。



■製造年月の識別方法と裏面スイッチの内容

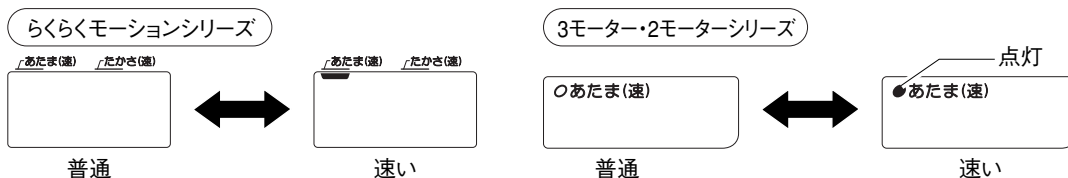
- 手元スイッチとコントロールボックスのQRコードの有/無で、製造年月を識別することができます。
- コントロールボックスのラベルの確認は、ベッドを水平にしたあと、足ボトムを持ちあげて行ってください。

	2006年5月【以前】製造	2006年5月【以降】製造
コントロールボックス ■ラベル	 <p>MCO860A 3F03121900A* MITSUBA ****-*** LOT.NO. 00000</p>	 <p>MCO861A  QRコード 3F03172300A* MITSUBA ****-*** LOT.NO. 00000</p>
手元スイッチ ■裏面ラベル	 <p>手元スイッチ 3K00000000A0 00000000 0A 【注意】：コードを無理に引っ張らないでください。 スイッチ本体は防水仕様です。(IPX6) パラマウントベッド株式会社 MADE IN JAPAN</p> <p>●速さ切換スイッチ：2つ ・たかさ速度：普通/速い ・あたま速度：普通/速い ●リセットスイッチ：無</p>	 <p>【注意】 3F03172500A1  QRコード W82L **** B ●コードを無理に引っ張らないでください。 ●スイッチ本体は防水仕様です。(IPX6) パラマウントベッド株式会社 MADE IN JAPAN</p> <p>●速さ切換スイッチ：1つ ●リセットスイッチ：有</p>

■2006年5月以前製造の手元スイッチの速さ切換

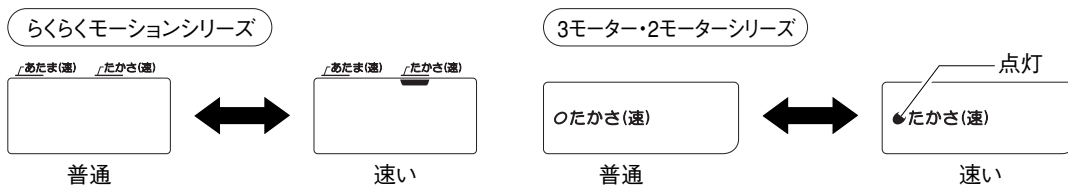
あたま速度（切換）スイッチ

- 背ボトムをあげさげする速さを2通り（普通/速い）選ぶことができます。
「速い」は「普通」の約1.5倍の速さで動作します。



たかさ速度（切換）スイッチ

- ベッドの高さをあげさげする速さを2通り（普通/速い）選ぶことができます。
「速い」は「普通」の約1.5倍の速さで動作します。



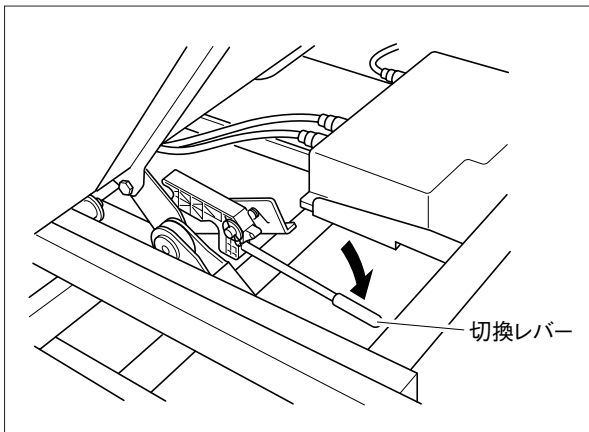
■2006年5月以前製造の手元スイッチのリセット

- 電源プラグまたは手元スイッチプラグを抜くことにより、裏面スイッチで設定した内容を全て初期状態（下記参照）に戻すことができます。停電後も同様に初期状態に戻りますのでご注意ください。
- 裏面スイッチの初期状態（何も選択していない状態）は、次のとおりです。
 - 手元操作選択：すべての操作が可能
 - あたま速度：普通
 - たかさ速度：普通
 - 操作音：入

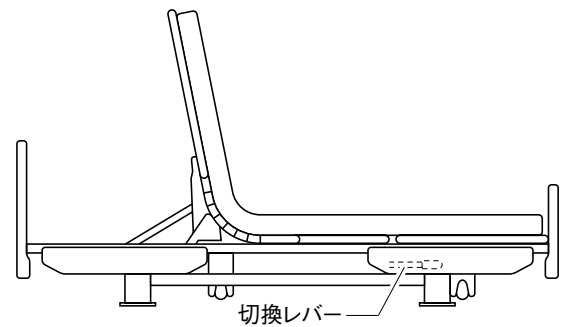
7 背膝連動切換操作について(2モーターシリーズ)

- 2モーターシリーズは切換レバー操作で、背あげのみか背膝連動のどちらかを選択できます。
- 切換レバーは足ボトムの裏側にあります。
- 切換操作はボトムを水平にしたあと、足ボトムを持ちあげて行ってください。

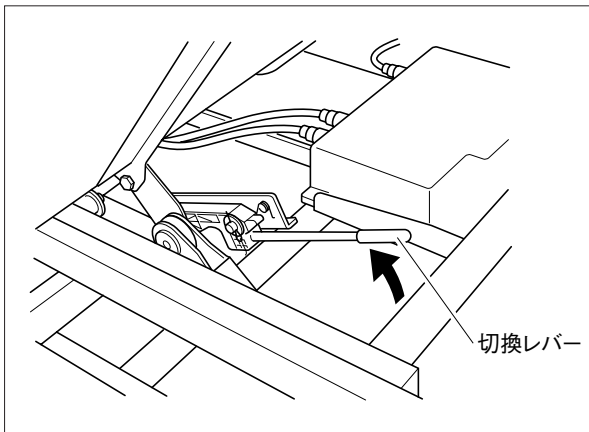
解除状態



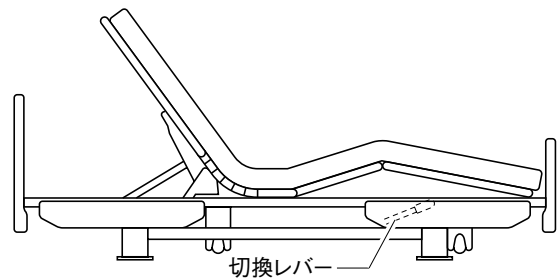
- レバーをさげて水平にすると連動が解除され、背あげのみの操作ができます。



連動状態



- レバーをあげると連動状態となり、背膝連動動作ができます。



8 ユニットの組合せ

■各製品は以下のユニットの組合せで使用してください。



●ベッドは正しいユニットの組合せを確認した上で組立ててください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。各ユニットの番号は段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

らくらくモーションシリーズ



以下のユニットの組合せ以外で使用する場合は販売店または弊社までお問合せください。

	83幅ミニ						
	KQ-86000	KQ-86010	KQ-86020	KQ-860B0	KQ-860S0	KQ-86030	KQ-86040
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q86001K						
アクセサリ枠	Q82001S		Q82031S	Q82041S	Q82031S	Q82041S	
ボトム	Q82000U						
ボード	Q82001B	Q82011B	Q82021B	Q82011B	Q82021B	Q82031B	Q82041B

	83幅レギュラー						
	KQ-86100	KQ-86110	KQ-86120	KQ-861B0	KQ-861S0	KQ-86130	KQ-86140
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q86001K						
アクセサリ枠	Q82101S		Q82131S	Q82141S	Q82131S	Q82141S	
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82001B	Q82011B	Q82021B	Q82011B	Q82021B	Q82231B	Q82241B

	83幅ロング						
	KQ-86A00	KQ-86A10	KQ-86A20	KQ-86AB0	KQ-86AS0	KQ-86A30	KQ-86A40
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q86001K						
アクセサリ枠	Q02A01※		Q02A31※	Q02A41※	Q02A31※	Q02A41※	
	Q82101S		Q82131S	Q82141S	Q82131S	Q82141S	
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82001B	Q82011B	Q82021B	Q82011B	Q82021B	Q82231B	Q82241B

	91幅ミニ						
	KQ-86200	KQ-86210	KQ-86220	KQ-862B0	KQ-862S0	KQ-86230	KQ-86240
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q86001K						
アクセサリ枠	Q82201S		Q82231S	Q82241S	Q82231S	Q82241S	
ボトム	Q82200U						
ボード	Q82201B	Q82211B	Q82221B	Q82211B	Q82221B	Q82231B	Q82241B

	91幅レギュラー						
	KQ-86300	KQ-86310	KQ-86320	KQ-863B0	KQ-863S0	KQ-86330	KQ-86340
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q86001K						
アクセサリ枠	Q82301S		Q82331S	Q82341S	Q82331S	Q82341S	
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82201B	Q82211B	Q82221B	Q82211B	Q82221B	Q82231B	Q82241B

	91幅ロング						
	KQ-86B00	KQ-86B10	KQ-86B20	KQ-86BB0	KQ-86BS0	KQ-86B30	KQ-86B40
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q86001K						
アクセサリ枠	Q02B01※		Q02B31※	Q02B41※	Q02B31※	Q02B41※	
	Q82301S		Q82331S	Q82341S	Q82331S	Q82341S	
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82201B	Q82211B	Q82221B	Q82211B	Q82221B	Q82231B	Q82241B

※延長フレーム

8 ユニットの組合せ

3モーターシリーズ



以下のユニットの組合せ以外で使用する場合は
販売店または弊社までお問合せください。

	83幅ミニ						
	KQ-83000	KQ-83010	KQ-83020	KQ-830B0	KQ-830S0	KQ-83030	KQ-83040
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q83001K						
アクセサリ枠	Q82001S		Q82031S	Q82041S	Q82031S	Q82041S	
ボトム	Q82000U						
ボード	Q82001B	Q82011B	Q82021B	Q82011B	Q82021B	Q82031B	Q82041B

	83幅レギュラー						
	KQ-83100	KQ-83110	KQ-83120	KQ-831B0	KQ-831S0	KQ-83130	KQ-83140
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q83001K						
アクセサリ枠	Q82101S		Q82131S	Q82141S	Q82131S	Q82141S	
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82001B	Q82011B	Q82021B	Q82011B	Q82021B	Q82231B	Q82241B

	83幅ロング						
	KQ-83A00	KQ-83A10	KQ-83A20	KQ-83AB0	KQ-83AS0	KQ-83A30	KQ-83A40
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q83001K						
アクセサリ枠	Q02A01※		Q02A31※	Q02A41※	Q02A31※	Q02A41※	
	Q82101S		Q82131S	Q82141S	Q82131S	Q82141S	
ボトム	Q82100U						
ボード	Q82001B	Q82011B	Q82021B	Q82011B	Q82021B	Q82231B	Q82241B

	91幅ミニ						
	KQ-83200	KQ-83210	KQ-83220	KQ-832B0	KQ-832S0	KQ-83230	KQ-83240
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q83001K						
アクセサリ枠	Q82201S		Q82231S	Q82241S	Q82231S	Q82241S	
ボトム	Q82200U						
ボード	Q82201B	Q82211B	Q82221B	Q82211B	Q82221B	Q82231B	Q82241B

	91幅レギュラー						
	KQ-83300	KQ-83310	KQ-83320	KQ-833B0	KQ-833S0	KQ-83330	KQ-83340
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q83001K						
アクセサリ枠	Q82301S		Q82331S	Q82341S	Q82331S	Q82341S	
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82201B	Q82211B	Q82221B	Q82211B	Q82221B	Q82231B	Q82241B

	91幅ロング						
	KQ-83B00	KQ-83B10	KQ-83B20	KQ-83BB0	KQ-83BS0	KQ-83B30	KQ-83B40
ベースフレーム	Q82001V						
駆動部	Q83001K						
アクセサリ枠	Q02B01※		Q02B31※	Q02B41※	Q02B31※	Q02B41※	
	Q82301S		Q82331S	Q82341S	Q82331S	Q82341S	
ボトム	Q82300U						
ボード	Q82201B	Q82211B	Q82221B	Q82211B	Q82221B	Q82231B	Q82241B

※延長フレーム

2モーターシリーズ



以下のユニットの組合せ以外で使用する場合は
販売店または弊社までお問合せください。

		83幅ミニ						
		KQ-82000	KQ-82010	KQ-82020	KQ-820B0	KQ-820S0	KQ-82030	KQ-82040
ベースフレーム		Q82001V						
駆動部		Q82001K						
アクセサリ枠		Q82001S		Q82031S	Q82041S	Q82031S	Q82041S	
ボトム		Q82000U						
ボード		Q82001B	Q82011B	Q82021B	Q82011B	Q82021B	Q82031B	Q82041B

		83幅レギュラー						
		KQ-82100	KQ-82110	KQ-82120	KQ-821B0	KQ-821S0	KQ-82130	KQ-82140
ベースフレーム		Q82001V						
駆動部		Q82001K						
アクセサリ枠		Q82101S		Q82131S	Q82141S	Q82131S	Q82141S	
ボトム		Q82100U						
ボード		Q82001B	Q82011B	Q82021B	Q82011B	Q82021B	Q82231B	Q82241B

		83幅ロング						
		KQ-82A00	KQ-82A10	KQ-82A20	KQ-82AB0	KQ-82AS0	KQ-82A30	KQ-82A40
ベースフレーム		Q82001V						
駆動部		Q82001K						
アクセサリ枠		Q02A01※		Q02A31※	Q02A41※	Q02A31※	Q02A41※	
		Q82101S		Q82131S	Q82141S	Q82131S	Q82141S	
ボトム		Q82100U						
ボード		Q82001B	Q82011B	Q82021B	Q82011B	Q82021B	Q82231B	Q82241B

		91幅ミニ						
		KQ-82200	KQ-82210	KQ-82220	KQ-822B0	KQ-822S0	KQ-82230	KQ-82240
ベースフレーム		Q82001V						
駆動部		Q82001K						
アクセサリ枠		Q82201S		Q82231S	Q82241S	Q82231S	Q82241S	
ボトム		Q82200U						
ボード		Q82201B	Q82211B	Q82221B	Q82211B	Q82221B	Q82231B	Q82241B

		91幅レギュラー						
		KQ-82300	KQ-82310	KQ-82320	KQ-823B0	KQ-823S0	KQ-82330	KQ-82340
ベースフレーム		Q82001V						
駆動部		Q82001K						
アクセサリ枠		Q82301S		Q82331S	Q82341S	Q82331S	Q82341S	
ボトム		Q82300U						
ボード		Q82201B	Q82211B	Q82221B	Q82211B	Q82221B	Q82231B	Q82241B

		91幅ロング						
		KQ-82B00	KQ-82B10	KQ-82B20	KQ-82BB0	KQ-82BS0	KQ-82B30	KQ-82B40
ベースフレーム		Q82001V						
駆動部		Q82001K						
アクセサリ枠		Q02B01※		Q02B31※	Q02B41※	Q02B31※	Q02B41※	
		Q82301S		Q82331S	Q82341S	Q82331S	Q82341S	
ボトム		Q82300U						
ボード		Q82201B	Q82211B	Q82221B	Q82211B	Q82221B	Q82231B	Q82241B

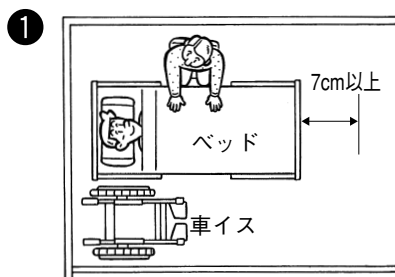
※延長フレーム

9 設置について

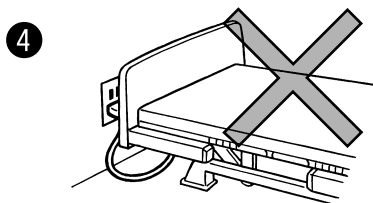
■ベッドを設置するにあたって下記の条件を考慮してください。



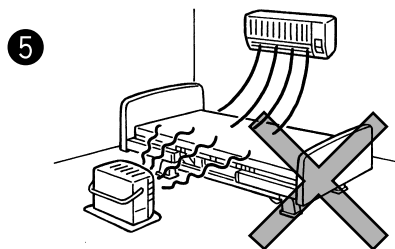
●一度組立ててしまいますと部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。



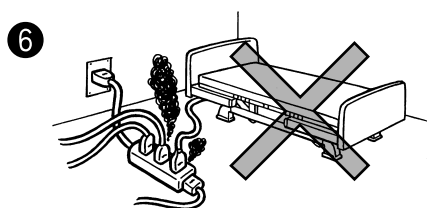
①ベッドの周辺のスペースを確保してください。ベッドで療養する方がベッドから起き上がる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合はベッドのどちら側で使用するかによって必要なスペースを確保してください。介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（シーツ交換だけか、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助等が必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。



●ベッドの高さ操作時、ベッドは足側に動きます。足側には7~8cm以上のスペースを確保してください。

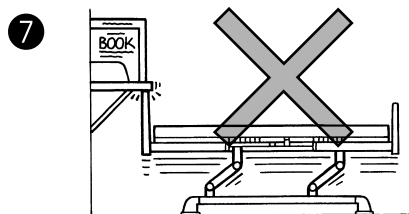


②水平なゆかに設置してください。



③ベッドの質量は約80kg~約89.5kgです（11~13ページ参照）。寝具およびオプション（付属品）にベッドで療養する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。

④電源プラグの抜き差しができなくなる場所にはベッドを設置しないでください。誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。



⑤冷暖房器による冷気や暖気が、ベッドに直接当たらないようにしてください。

⑥ベッドの電源は直接コンセントからとってください。コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続使用すると、電源コードやプラグが発熱するおそれがあります。

⑦ベッドは電動操作で動きます。特に高さ方向については、ベッドの高さ調節によってベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。

10 開梱と部品の確認

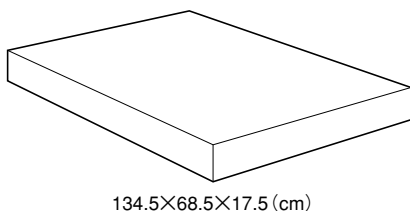
●開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。
 万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または弊社までご連絡ください。



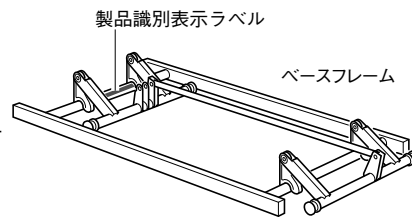
●組立ての際にはユニット同士やユニットの可動部で手をはさまないように注意してください。

※ () 内の数字は梱包材を含む質量です。

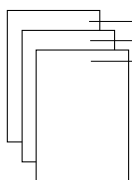
①ベースフレーム
 Q82001V
 約16kg
 (19.0kg)



134.5×68.5×17.5 (cm)



■付属品

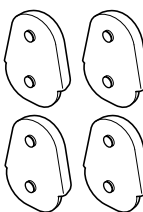


取扱説明書1冊
 棚のすき間に関する注意事項1枚
 保証書1枚

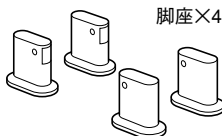
■組立付属部品



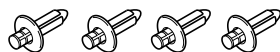
蝶ボルト×2
 蝶ナット×2



リンク受キャップ×4



脚座×4



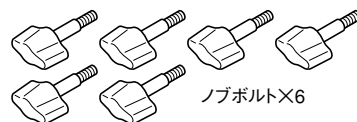
プッシュリベット×4



スナップピン×7



連結ピン(小)×1



ノブボルト×6



連結ピン(大)×2

■スナップピンの使い方



図の状態になるまで
 確実に差込んでくだ
 さい。

②駆動部

2モーターシリーズ

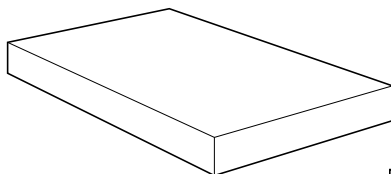
3モーターシリーズ

らくらくモーションシリーズ

Q82001K
 約20.0kg
 (23.0kg)

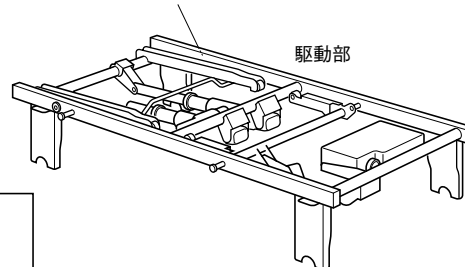
Q83001K
 約21.0kg
 (24.0kg)

Q86001K
 約21.0kg
 (24.0kg)



116×63.5×24 (cm)

製品識別表示ラベル (裏側)



■付属品

クイックマニュアル
 1枚

10 開梱と部品の確認

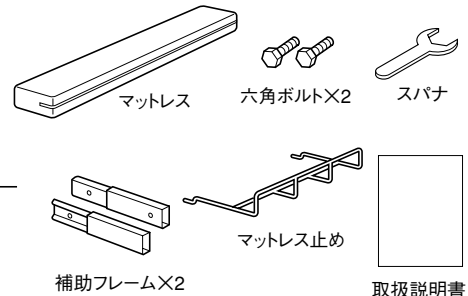
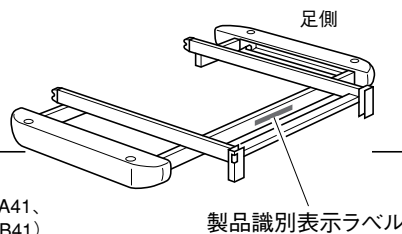
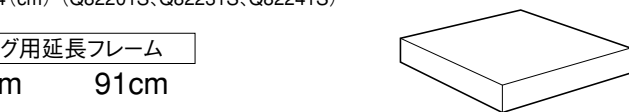
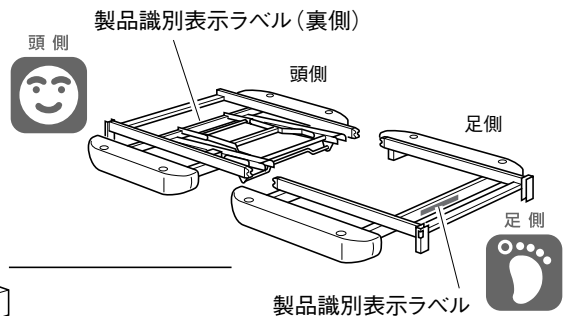
③ アクセサリー枠

ミニ		レギュラー	
83cm	91cm	83cm	91cm
Q82001S	Q82201S	Q82101S	Q82301S
Q82031S	Q82231S	Q82131S	Q82331S
Q82041S	Q82241S	Q82141S	Q82341S
約21.0kg	約21.5kg	約21.5kg	約22.0kg
(25.0kg)	(25.5kg)	(25.5kg)	(26.0kg)

94×88.5×24 (cm) (Q82101S、Q82131S、Q82141S)
 101×88.5×24 (cm) (Q82301S、Q82331S、Q82341S)
 94×83×24 (cm) (Q82001S、Q82031S、Q82041S)
 101×83×24 (cm) (Q82201S、Q82231S、Q82241S)

ロング用延長フレーム	
83cm	91cm
Q02A01	Q02B01
Q02A31	Q02B31
Q02A41	Q02B41
約10.5kg	約11.0kg
(13.0kg)	(13.5kg)

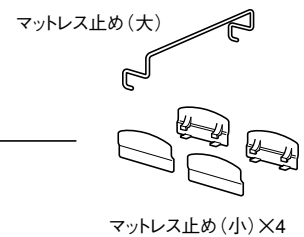
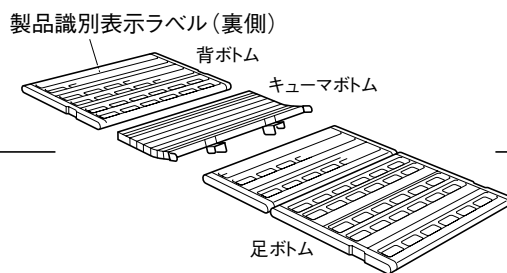
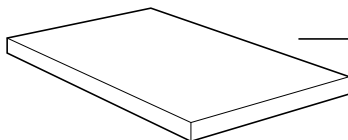
103.5×88.5×16.5 (cm) (Q02A01、Q02A31、Q02A41、
 Q02B01、Q02B31、Q02B41)



④ ボトム

ミニ		レギュラー	
83cm	91cm	83cm	91cm
Q82000U	Q82200U	Q82100U	Q82300U
約17.5kg	約19.0kg	約18.5kg	約19.5kg
(20.5kg)	(21.5kg)	(21.0kg)	(22.5kg)

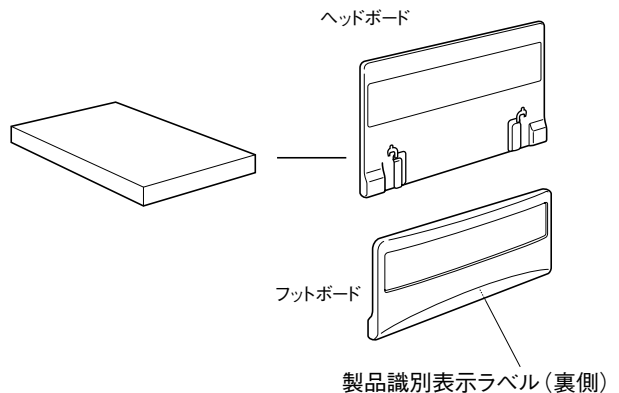
104×86×13 (cm) (Q82100U)
 104×93×13 (cm) (Q82300U)
 98.5×86×13 (cm) (Q82000U)
 98.5×93×13 (cm) (Q82200U)



⑤ ボードセット

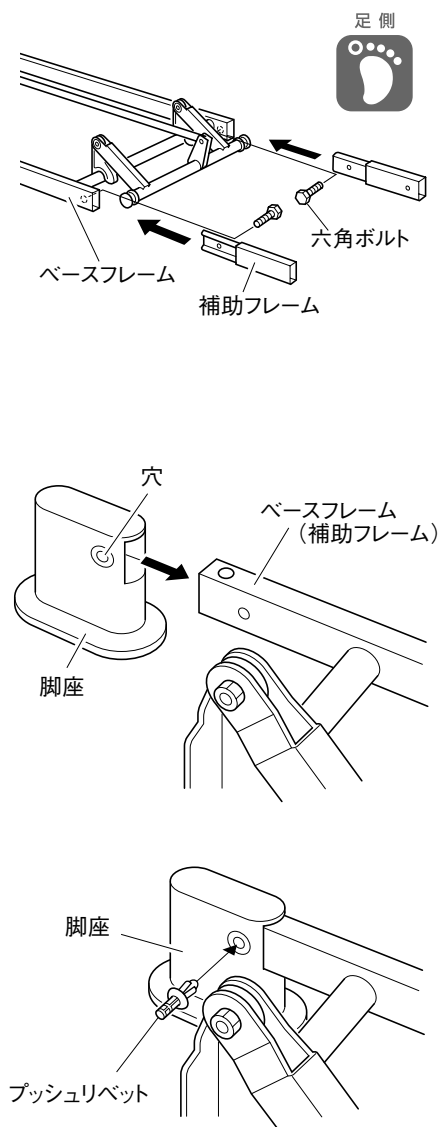
樹脂		木調	
83cm	91cm	83(レギュラー・ロング) 91cm共通	83cmミニ専用
Q82001B	Q82201B	Q82231B	Q82031B
Q82011B	Q82211B	Q82241B	Q82041B
Q82021B	Q82221B		
約6.0kg	約6.5kg	約9.5kg	約9.0kg
(7.5kg)	(8.0kg)	(11.5kg)	(10.5kg)

86×52×13.5 (cm) (Q82001B、Q82011B、Q82021B)
 93×52×13.5 (cm) (Q82201B、Q82211B、Q82221B)
 96.5×57×11 (cm) (Q82231B、Q82241B)
 89.5×57×11 (cm) (Q82031B、Q82041B)

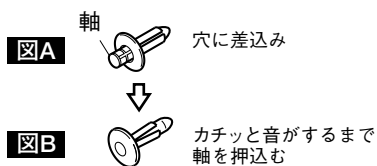


11 ベッドの組立方法

1.脚座の取付け



プッシュリベットを取付けるときは



①組立前に27ページの「設置について」に従い、ベッドの配置をお決めください。

下記②、③はロングおよび延長フレームを取付けるベッドの作業です。

②足側のベースフレーム先端に補助フレームを差込んでください。(左右各1カ所)



- 補助フレームは延長フレームに梱包されています。
- 補助フレームは穴のあいている方を内側にしてください。

③付属の六角ボルトで補助フレームをベースフレームに固定してください。



- ボルトの締付けは、付属のスパナを使用してください。

④ベースフレーム (補助フレーム) を持ち、先端に脚座を差込んでください。(4カ所)



- 脚座には左右があります。穴のあいている方を内側にしてください。

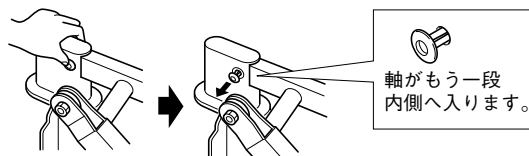
⑤プッシュリベットが図Aのような状態であることを確認してください。(なっていない場合は図Aの状態にしてください。)

⑥ベースフレーム (補助フレーム) と脚座の穴位置を合わせプッシュリベットを差込んでください。

⑦プッシュリベットの軸を押込んで図Bの状態にして、脚座をベースフレーム (補助フレーム) に固定してください。(4カ所)

プッシュリベットを外すときは

- カチッと音がするまで指で軸をさらに押込んでください。固定が解除されますので、そのまま抜いてください。
- ※指で押込めない場合は、押しすぎないように注意してドライバー等で軽く押込んでください。
- ※再度取付ける際は、図Aの状態にしてください。



けいこく
警告

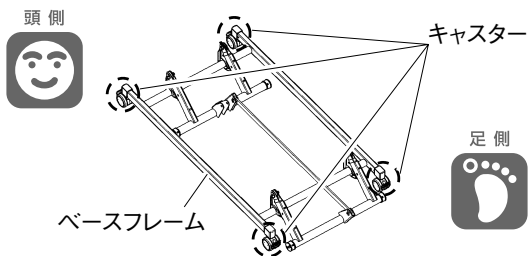
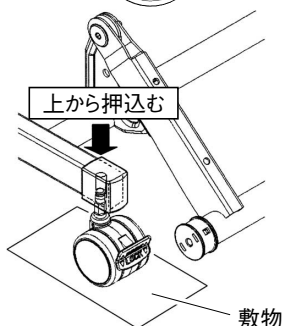
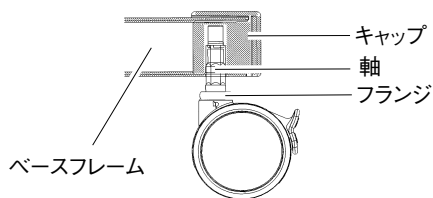
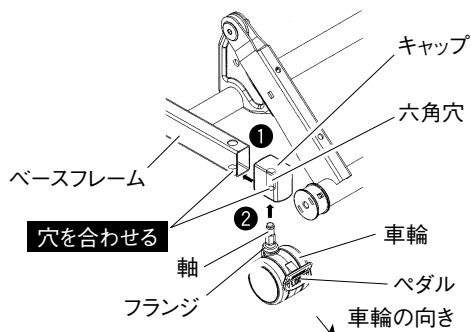
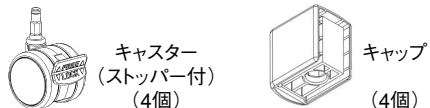
- ボルトで補助フレームを、プッシュリベットで脚座を確実に固定してください。固定されていない場合、補助フレームや脚座が外れてけがや破損の原因となります。

11 ベッドの組立方法

2. 「キャスター・ハイトスペーサー」(別売)の取付け

■キャスター(KQ-39)の取付け(ロングおよび延長フレームを取付けたベッドには適合しません。)

■組立付属部品



●キャスター (KQ-39) の取扱説明書も合わせてご確認ください。

※次の①～③の作業を4カ所すべてについて行ってください。

①ベースフレームの先端に、キャップを奥まで差込み、キャップとベースフレームの穴位置を確実に合わせてください。

②キャスターを図の向きにして、キャスターの軸(六角部)をキャップの穴の途中まで差込んでください。



●キャスターの軸(六角部)をキャップの穴に確実に合わせて、差込んでください。

③車輪をゆかに接地させ、ベースフレームの上面を手で押して、キャスターの軸をキャップの中に完全に押し込んでください。



●ベースフレーム上面を手で押してキャスターを押し込む際に、ベースフレームとキャスターの間に指をはさまないように注意してください。また、押し込む際にはゆか材を保護するためキャスターの下に敷物(脚座カーペットなど)を敷いてください。

●キャスター取付け後、フランジとベースフレーム下面が接していることを確認してください。

●キャスターが左図のように4カ所に取付いていることを確認してください。

●キャスター4輪すべてをロック状態にしていることを確認してからベッドの組立てを行ってください。



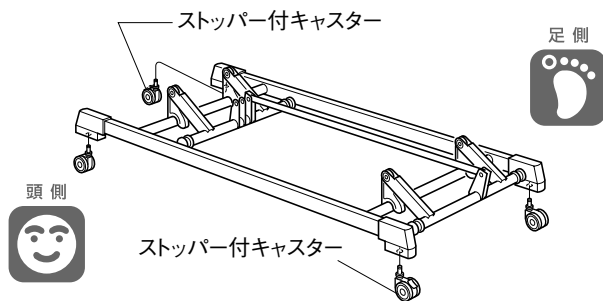
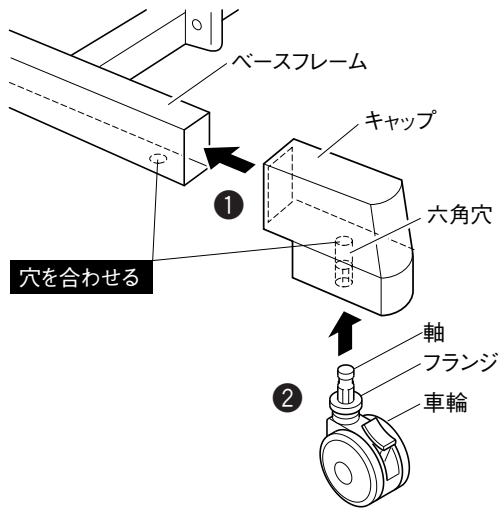
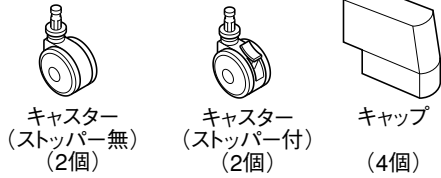
●ベッドを移動させるとき以外は、4カ所のキャスターすべてをロック状態にしてください。ベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。



●キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、ベッドおよびキャスターが故障するおそれがあります。

■キャスター(KQ-029)の取付け(ロングおよび延長フレームを取付けたベッドには適合しません。)

■組立付属部品



●キャスター(KQ-029)の取扱説明書も合わせてご確認ください。

- ①ベースフレームの先端に、キャップを奥まで差込み、キャップとベースフレームの穴位置を確実に合わせてください。
- ②キャスターの軸をキャップの六角穴に合わせ、カチッと音がするまで差込んでください。



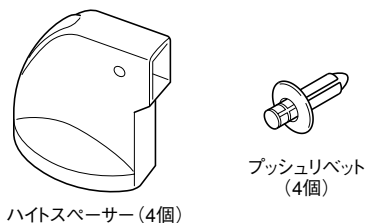
- このとき、フランジとキャップが接していることを確認してください。
- ストッパー付のキャスターは下図のように対角の位置に取付けてください。
- キャスターの軸(六角部)をキャップの穴に確実に合わせて、差込んでください。
- キャスターを差込む際に、指をはさまないように注意してください。
- 対角2カ所のキャスターをロック状態にしていることを確認してベッドの組立てを行ってください。



●ベッドを移動させるとき以外は、対角2カ所のキャスターをロック状態にしてください。ベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

■ハイトスペーサー(KQ-028)の取付け

■組立付属部品

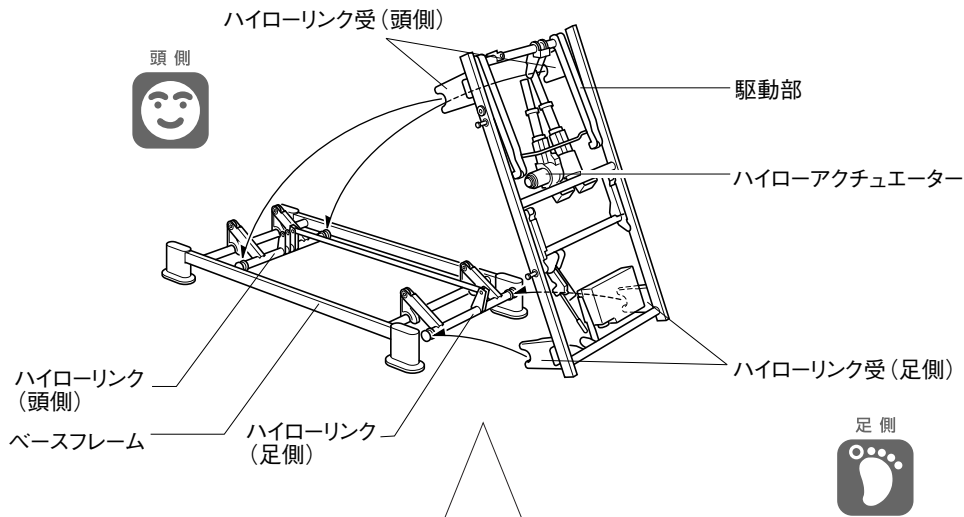


- ハイトスペーサー(KQ-028)の取扱説明書も合わせてご確認ください。
- ハイトスペーサーの取付け方は脚座と同じです。30ページの「脚座の取付け」に従ってハイトスペーサーを取付けてください。
- あらかじめ脚座が取付けてある場合には、30ページの「プッシュリベットを外すときは」に従ってプッシュリベットを外し、脚座を取外してください。

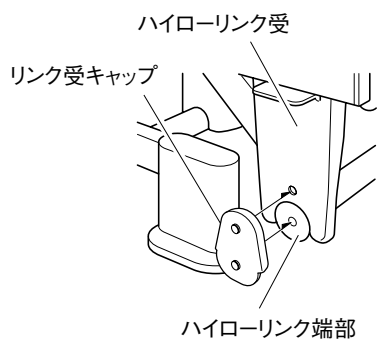
11 ベッドの組立方法

3. 駆動部の取付け

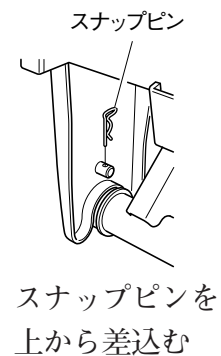
- ① 図のようにハイローリンク(足側)の上にハイローリンク受(足側)をのせて駆動部をゆっくり倒し、ハイローリンク(頭側)の上にハイローリンク受(頭側)をのせてください。



- ② リンク受キャップをハイローリンク端部の穴およびハイローリンク受の穴に差込んでください。(4カ所)



- ③ ハイローリンク受の裏側でリンク受キャップの穴にスナップピンを確実に差込み、リンク受キャップを固定してください。(4カ所)



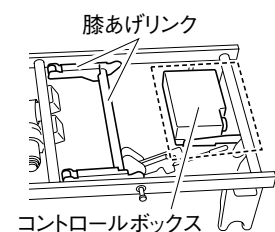
けい 告
警告

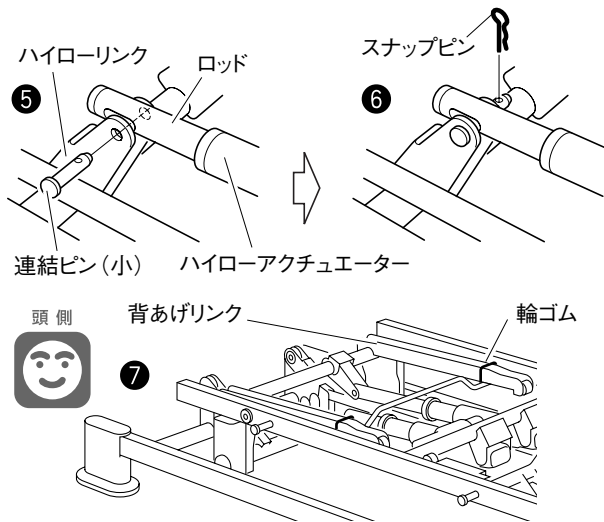
- リンク受キャップは奥まで差込み、裏側でスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損しけがをするおそれがあります。



ちゅう い
注意

- 膝あげリンクやコントロールボックス周辺部を持って運搬や組立を行わないでください。けがや破損の原因となります。





④ ハイローアクチュエーターのロッドを固定しているバンドを取外してください。



● バンドを取外す際、ロッドでゆかを傷つけないようご注意ください。

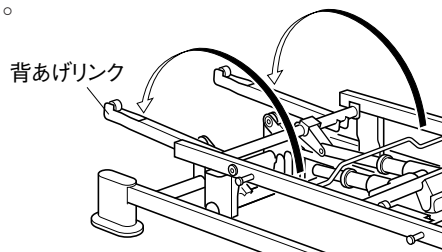
⑤ ハイローアクチュエーターのロッド先端とベースフレームのハイローリンクを付属の連結ピン(小)で連結してください。

⑥ 連結ピン(小)の穴にスナップピンを差込んでください。

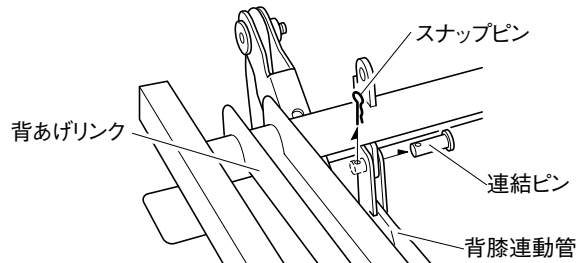
⑦ 背あげリンクを固定している輪ゴムを取外してください。

らくらくモーション・3モーターシリーズ

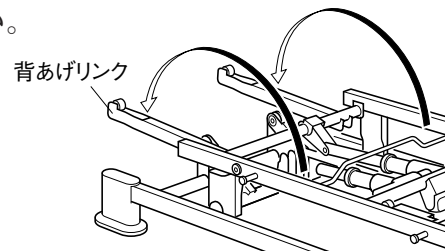
⑧ 背あげリンクを回転させて外側に出してください。



⑧ 背膝連動管の先端(頭側)を連結している連結ピンとスナップピンを取外してください。



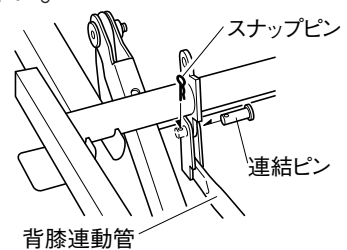
⑨ 背あげリンクを回転させて外側に出してください。



⑩ 背膝連動管の先端(頭側)と背あげリンクを⑧で取外した連結ピンとスナップピンで連結してください。



● 連結ピンはベッドの内側から差込んでください。



11 ベッドの組立方法

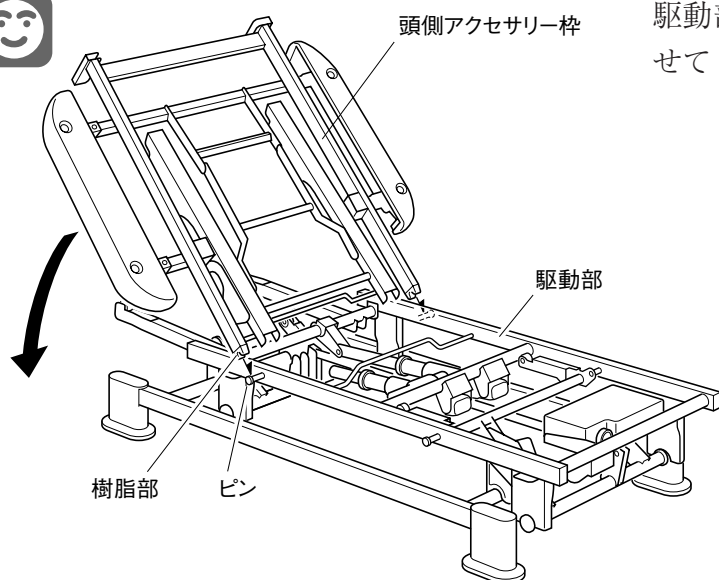
4. アクセサリー枠の取付け



●ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいると、ベッドが落下してけがをするおそれがあります。

レギュラー、ミニ

頭側

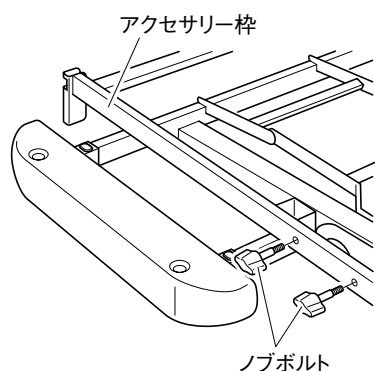
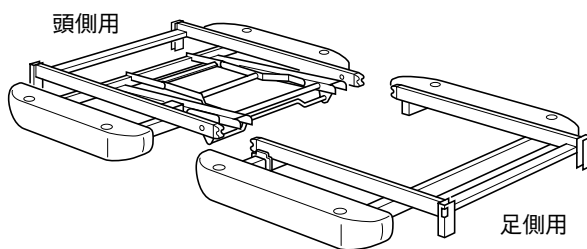


①頭側および足側アクセサリー枠の樹脂部を駆動部のピンに合わせて、駆動部の上ののせてください。

足側



●アクセサリー枠には頭側用と足側用があります。間違えないように取付けてください。



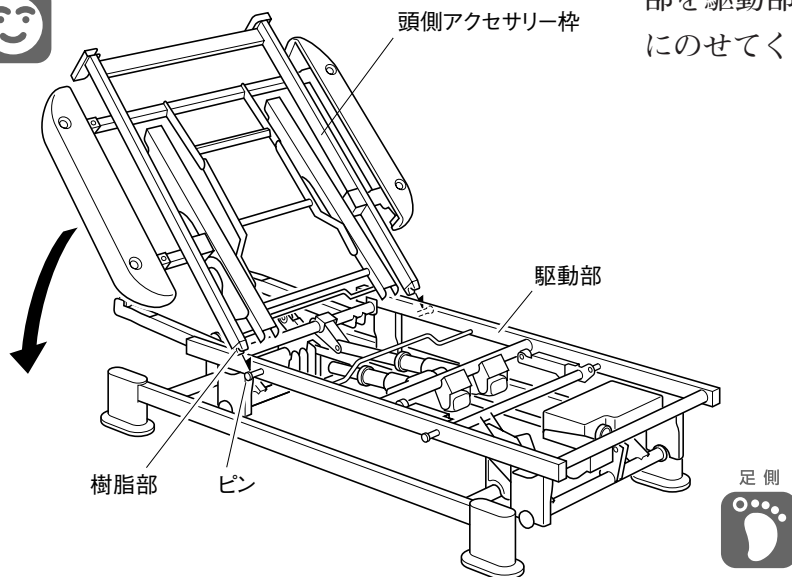
②付属のノブボルトで頭側および足側アクセサリー枠を駆動部に固定してください。(頭側左右各2カ所、足側左右各1カ所)

ロング

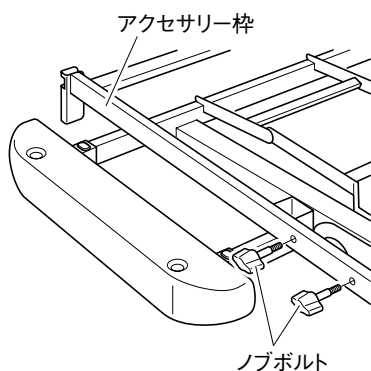
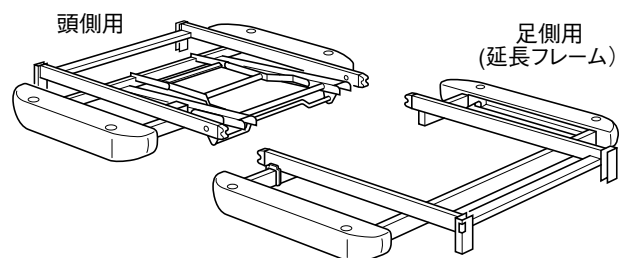


●ベースフレームに補助フレームが取付いていることを確認してください(30ページ参照)。

①頭側アクセサリ枠、延長フレームの樹脂部を駆動部のピンに合わせて、駆動部の上に乗せてください。



●延長フレームは足側に取付けてください。



②付属のノブボルトで頭側アクセサリ枠、延長フレームを駆動部に固定してください。(頭側左右各2カ所、足側左右各1カ所)



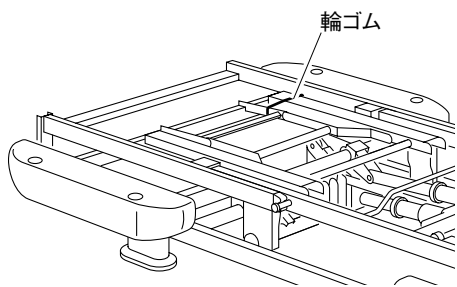
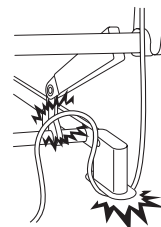
●足側アクセサリ枠は使用しません。

11 ベッドの組立方法

5. キューマボトムの取付け

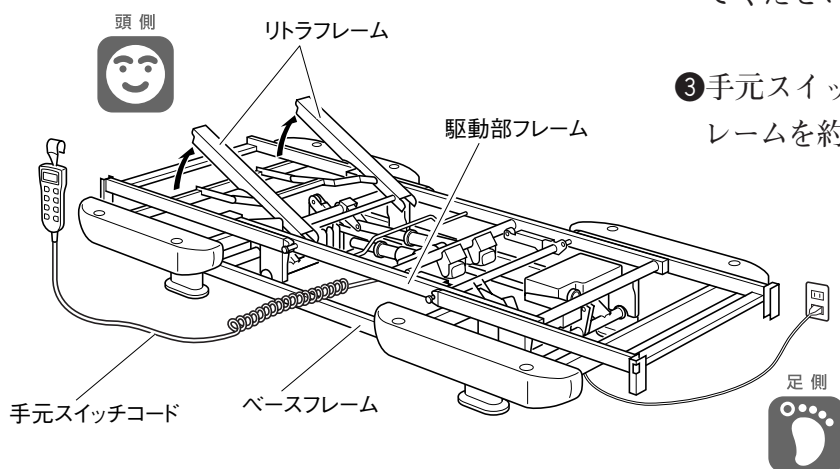


- 電源コードは必ず下記事項を確認したうえで配線してください。断線や破損のおそれがあります。
- ・可動部との接触がないこと。
- ・脚座での踏みつぶしができないこと。



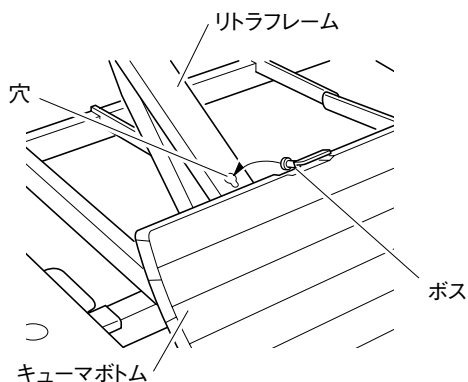
- 作業をしやすいために、リトラフレームをあげてください。

- ①リトラフレームを固定している輪ゴムを外してください。
- ②ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ③手元スイッチのあたま(↑)を押してリトラフレームを約40°あげてください。

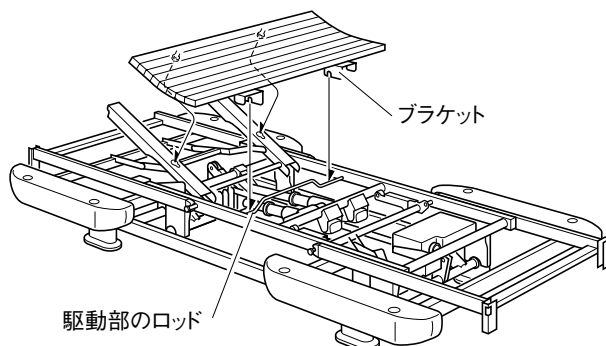


- 手元スイッチコードは、駆動部フレームとベースフレームの間を通してください。

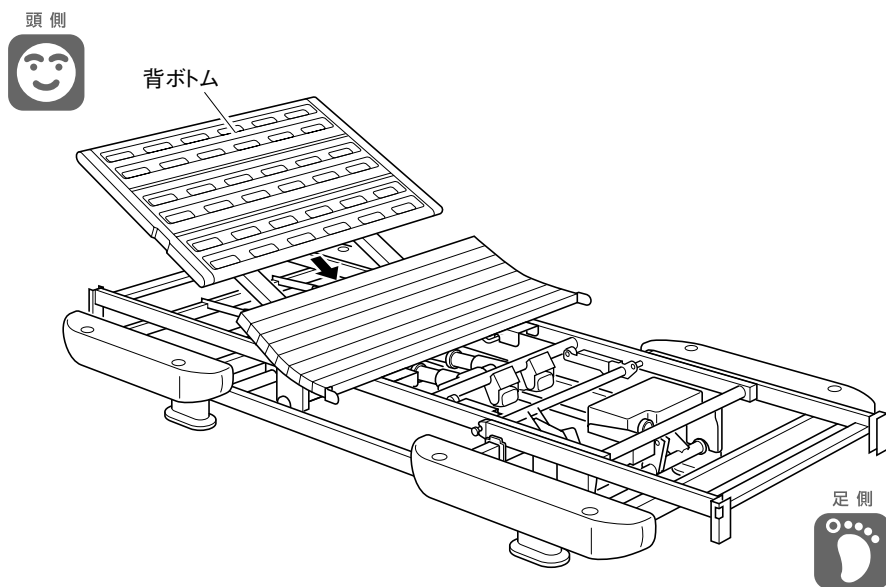
- ④キューマボトムの左右のボスを、リトラフレームの穴に差込んでください。



- ⑤左右のブラケットの溝を、駆動部のロッドに差込んでください。



6.背ボトムを取付け

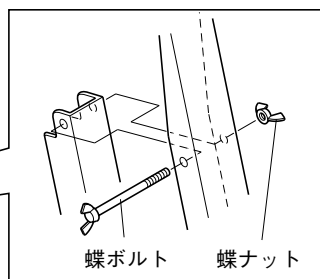
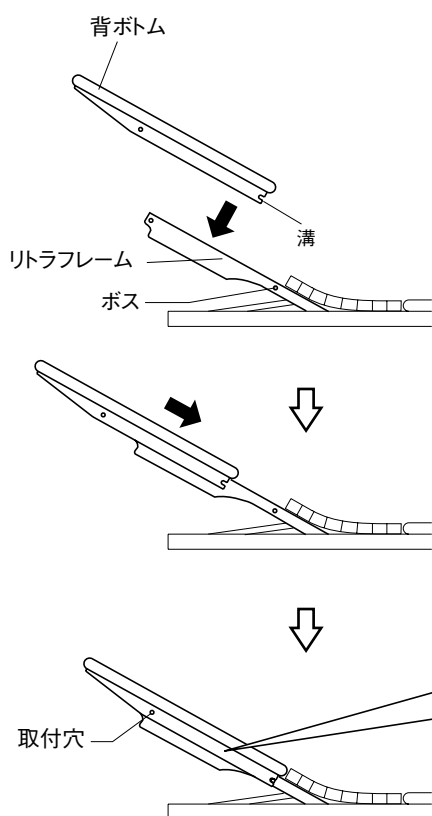


①図のように背ボトムをリトラフレームにのせてください。

②背ボトムを足側へスライドさせ、背ボトムの溝をリトラフレームのボスに差込んでください。

③背ボトムとリトラフレームの取付穴(左右各1カ所)に外側から蝶ボルトを差込み、蝶ナットで締付けてください。

●蝶ナットは左右とも、手で十分に締めてください。(工具不要)



④手元スイッチを操作して、背ボトムを一番下まで下げ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

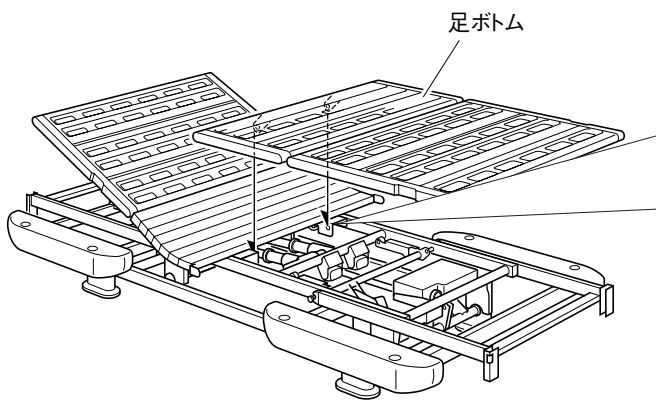
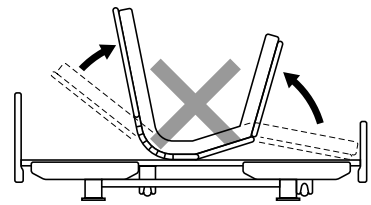
11 ベッドの組立方法

7. 足ボトムを取付け

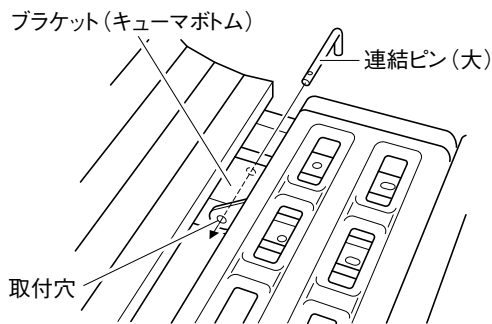
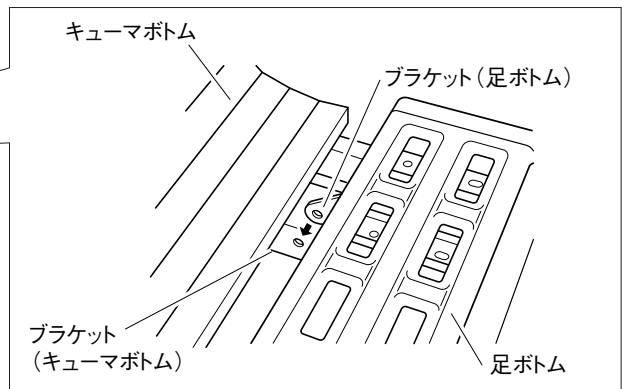


ちゅうい
注意

●背ボトム、足ボトムを持ち上げて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。変形・破損のおそれがあります。

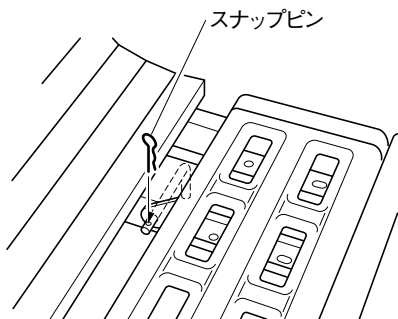


①足ボトムのブラケット穴をキューマボトムのブラケット穴の位置に合わせ、足ボトムをのせてください。

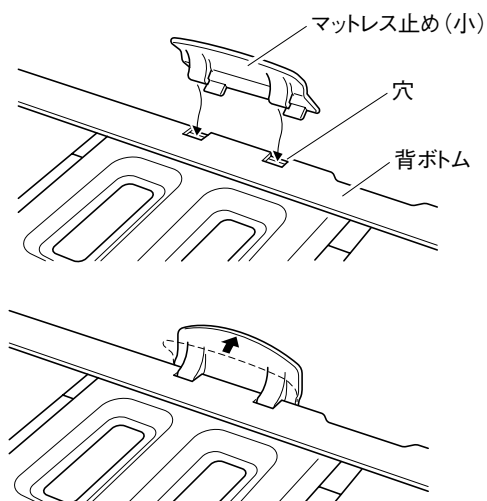


②駆動部の取付穴(左右各1カ所)に連結ピン(大)を外側から差込み、各ボトムと駆動部を連結してください。

③連結ピン(大)の穴にスナップピンを差込んでください。



8. マットレス止めの取付け



- ① マットレス止め(小)を背ボトム、足ボトム
両端の穴に斜めに差込んでください。
(背ボトム・足ボトム左右各1カ所)

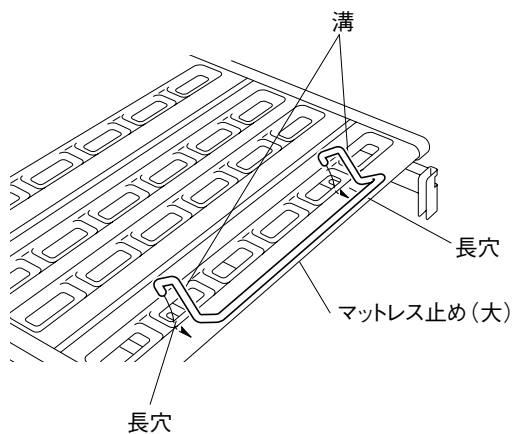
- ② マットレス止め(小)を起こしてください。



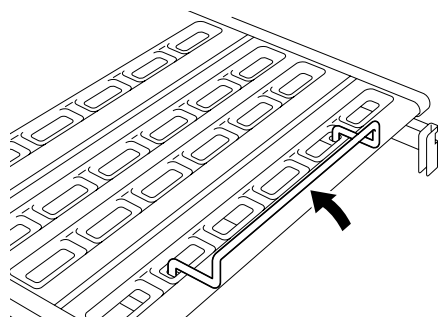
- マットレス止め(小)の取付け後、内から
外へ軽く押し、確実に取付いていることを
確認してください。

レギュラー・ミニサイズ

- ③ マットレス止め(大)を傾けた状態で、マッ
トレス止め(大)を内側に押しながら先端を
足ボトムの長穴に差込んでください。

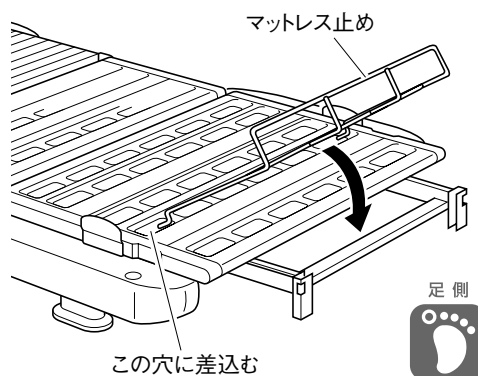


- ④ マットレス止め(大)を起こし、溝部を足ボ
トムの長穴にはめてください。



ロングサイズ

- ③ 足ボトムの穴に延長フレーム用のマットレス
止めの先端を斜めに差込んでください。

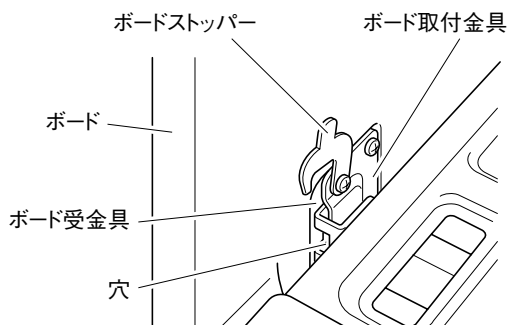
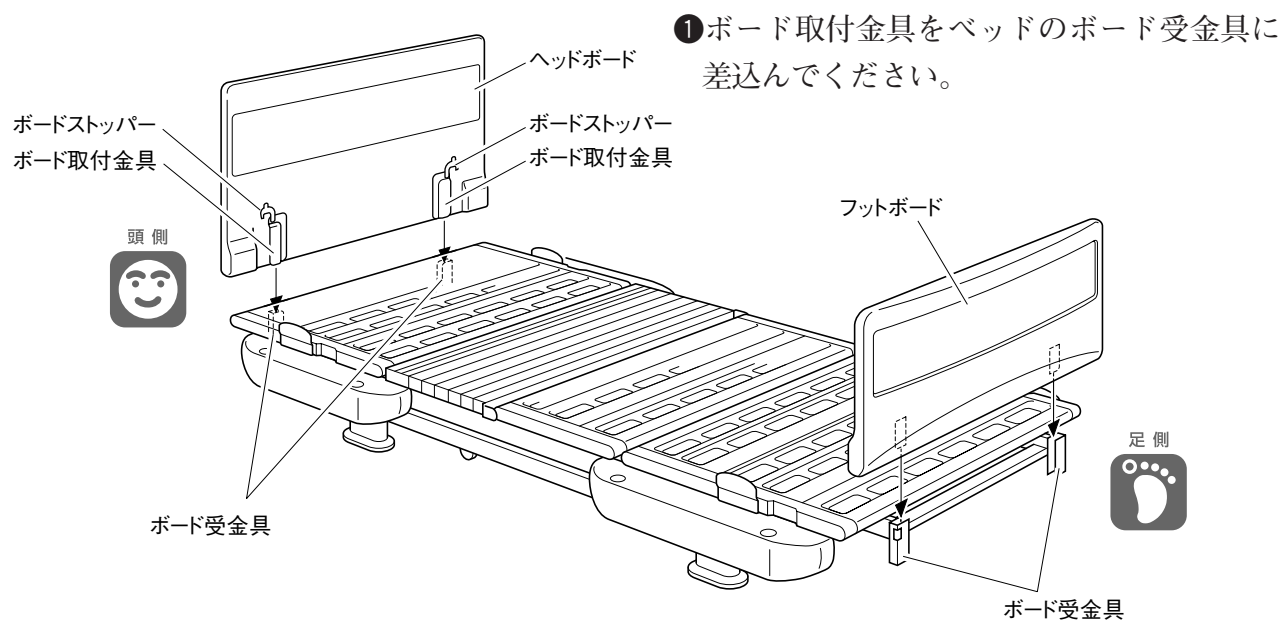


- ④ マットレス止めをたおしてください。

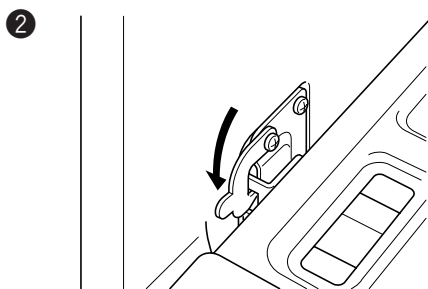
11 ベッドの組立方法

9.ヘッドボード・フットボードの取付け

■ヘッドボード・フットボードにはボードストッパーが付いています。下記の手順で取付けてください。ともに、まっすぐ最後まで差込んでください。



●ボードの上部に安全ラベル（警告、注意事項が記載されているシール）が貼ってある方を足側に取付けてください。



- ボードストッパーを掛け忘れたり、掛けかたが不完全な場合、ボードが不意に外れてけがをするおそれがあります。
- ボードを取付ける際は、落下させないように注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけるおそれがあります。

12 組立て後の点検

- ベッドの組立てが終わりましたら、このチェックシートで点検してください。(42～43ページをコピーしてお使いください。)
- 点検は日常ご使用の際にも行ってください。



●組立て後の点検は必ず行ってください。組立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障が発生するおそれがあります。

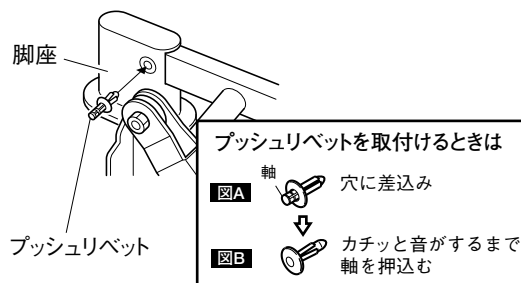


●手元スイッチを操作しながら点検作業をしている際に異常音や振動が生じた場合には、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター（62ページ参照）までご連絡ください。

1 脚座の取付け（4カ所）

・4カ所すべての脚座がはまり、プッシュリベットが確実に取付けられていますか？

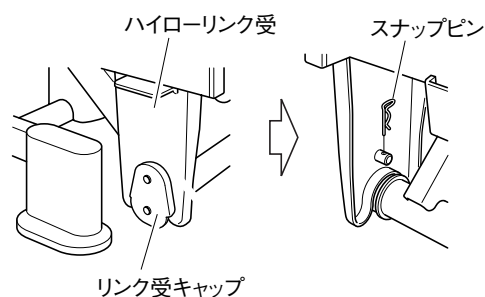
- はい
 いいえ→30ページ参照



2 リンク受キャップの取付け（4カ所）

・4カ所すべてのリンク受キャップがはまり、裏側にスナップピンが確実に差込まれていますか？

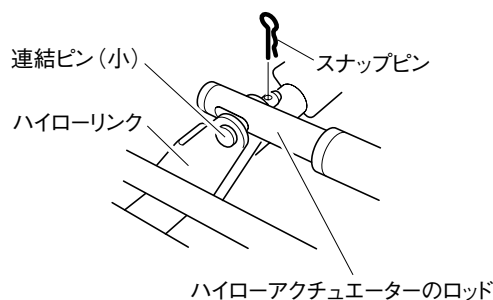
- はい
 いいえ→33ページ参照



3 ハイローアクチュエーターのロッドとハイローリンクの連結

・連結ピン（小）にスナップピンが差込まれていますか？

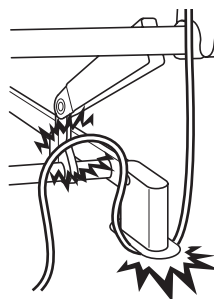
- はい
 いいえ→34ページ参照



4 電源コードの確認

・ベッドを動作させたときに、可動部と接触したりはさんだりしていませんか？
 ・脚座で踏んでいませんか？

- はい いいえ→37ページ参照



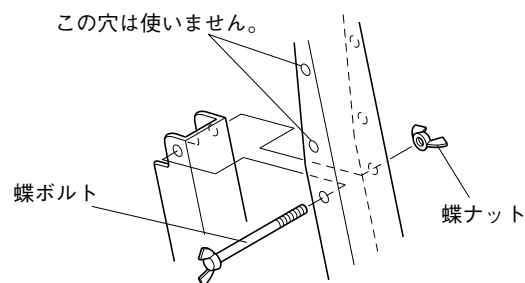
12 組立て後の点検

5 背ボトムの取付け（左右各1カ所）

・蝶ボルト、蝶ナットで締付けられていますか？

はい

いいえ→38ページ参照

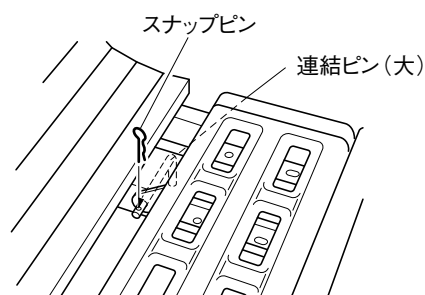


6 足ボトムの取付け（左右各1カ所）

・連結ピン（大）にスナップピンが差込まれていますか？

はい

いいえ→39ページ参照



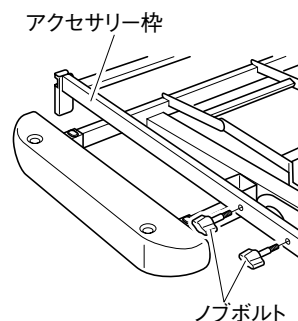
7 アクセサリー枠と駆動部の固定

（頭側左右各2カ所・足側左右各1カ所）

・頭側、足側ともにノブボルトで締付けられていますか？

はい

いいえ→35、36ページ参照



8 電源の確認

・プラグをコンセントに差込むと手元スイッチの電源ランプが点灯しますか？

はい いいえ→点灯せず：51ページ参照

点滅：※1

9 アクチュエーターの確認

・手元スイッチの「さがる」ボタンをひとつずつ押したとき、電源ランプが点滅しますか？

点滅しない 点滅する→51ページ参照

10 障害物の確認 ①

・手元スイッチで背ボトムを一番上まであげたとき、家具などに当たりませんか？

当たらない 当たる→ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。

11 障害物の確認 ②

・背をあげたままベッドの高さを一番上まであげたとき、どこかが家具などに当たりませんか？

当たらない 当たる→ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。

※1 調整、点検が必要です。販売店もしくはパラテクノコールセンター(62ページ参照)までご連絡ください。

13 マットレスの使用方法とご注意



●このベッドには、必ず弊社が指定する適合のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合以外のマットレスは、寸法や折れ曲がりの点で、適合しないだけでなく、柵にはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけ、故障の原因となります。

■レギュラーサイズ・ミニサイズベッド適合マットレス

品名	レギュラーサイズベッド		ミニサイズベッド	
	幅83cm	幅91cm	幅83cm	幅91cm
プレグラーマットレス	KE-553Q	KE-551Q	KE-5531Q	KE-5511Q
ファーターマットレス	KE-153Q	—	—	
エバーフィットマットレス ハードフィット面 ※	(清拭タイプ) KE-523Q	(清拭タイプ) KE-521Q	(清拭タイプ) KE-5231Q	(清拭タイプ) KE-5211Q
	(洗浄タイプ) KE-573Q	(洗浄タイプ) KE-571Q	(洗浄タイプ) KE-5731Q	(洗浄タイプ) KE-5711Q
ポケットコイル スプリングマットレス	KE-453	KE-451	—	
エバーフィットマットレス ソフトフィット面 ※	(清拭タイプ) KE-523Q	(清拭タイプ) KE-521Q	(清拭タイプ) KE-5231Q	(清拭タイプ) KE-5211Q
	(洗浄タイプ) KE-573Q	(洗浄タイプ) KE-571Q	(洗浄タイプ) KE-5731Q	(洗浄タイプ) KE-5711Q
クレーターマットレス	KE-763	KE-761	—	
コンフォケアマットレス	KE-813	KE-811	—	
マキシーフロートマットレス	KE-803	KE-801	KE-8031	KE-8011
パラフロートマットレス	KE-853	KE-851	—	
アキュマックス	KE-823	KE-821	—	

一般用
マットレス

かため

体圧分散
マットレス

やわらかめ

※エバーフィットマットレスは、ハードフィット面、ソフトフィット面のリバーシブルです。それぞれの面で、やわらかさが異なります。

14 オプションの取付けとご注意

1. 介助バー・サイドレール・サイドサポートについて

- ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、介助バー、サイドレール、サイドサポートが使用できます。
- 安全のため、使用者が転落するおそれがある場合などにはサイドレールまたはサイドサポートをご使用ください。

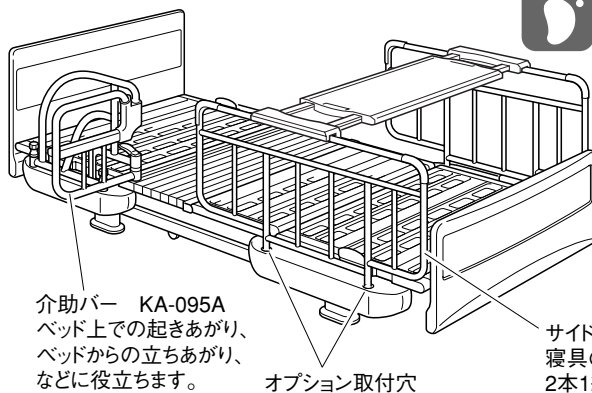
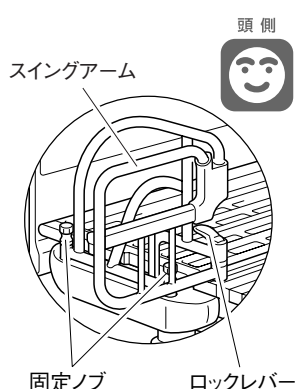


● オプション間のすき間やオプションとヘッド・フットボードのすき間に、頭や首が入らないように注意してください。すき間に入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。



- 各オプションに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
- ベッド用のオプションを別途購入し組合せる場合は、仕様変更等によりこの取扱説明書の記述と異なる場合があります。ご不明な点は販売店または弊社までお問合せください。

■ 介助バー、サイドレール



サイドレール適合表
KS-160、165シリーズ
KS-170、175シリーズ
KS-125シリーズ
KS-145シリーズ
KA-015、KA-018
KS-019
KS-190、195シリーズ
KA-19、KS-180QC

※ 下記介助バーとの
組合わせ専用です。

介助バー適合表
KA-095A、B
KS-095AC、BC

サイドレール KS-195
寝具の落下予防に役立ちます。
2本1組



介助バー

介助バーは、固定ノブを締めてご使用ください。介助バーが抜けると、転倒してけがをするおそれがあります。

ベッドの背あげ操作を行うときは、スイングアームをベッドの内側に向けて使用しないでください。スイングアームとベッドの間に体や手をはさまれてけがをするおそれがあります。

ご使用時はロックレバーをいちばん下までさげ、スイングアームが固定されていることを確認してください。固定が不十分な状態で使用しますと、不安定なため、つかまった時に転倒してけがをするおそれがあります。

サイドレール

サイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下予防を目的としています。立ち上がり時など、支えとしてお使いになる場合は介助バーをお使いください。サイドレールはベッドへの取付け、取外しが素早く行なえるように、ストッパー機構は付いておりません。体重がかかっている状態で抜けると転倒してけがをするおそれがあります。

サイドレールを取付けの際は、ヘッドボード・フットボードから大きくとび出さない向きに取付けてください。とび出したサイドレールでけがをするおそれがあります。

■サイドサポート



サイドサポート適合表	
オプション受け差込式	ボトム取付式
KA-037A KA-037B	KA-038A KA-038B

※ボトム追従式は背ボトム専用です。



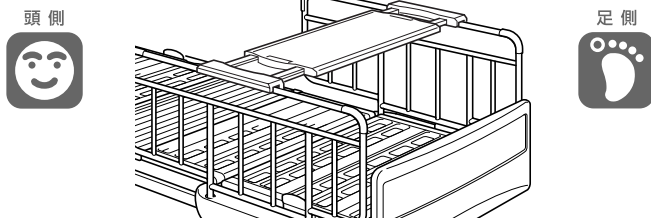
- サイドサポートは、ご使用のマットレスに合わせて高さ調節ができます。詳細はサイドサポートの取扱説明書をお読みください。
- サイドサポートに添付されている、取扱説明書も必ずお読みください。



- ボトム取付式は裏側の蝶ナットを確実に固定してください。固定しないと、けがや破損の原因になります。

2. オーバーテーブル・キャスター・ハイトスペーサーについて

■オーバーテーブル



オーバーテーブル適合表	
83cmタイプ	91cmタイプ
KQ-090 KQ-060M	KQ-090 KQ-060L



- オーバーテーブルはサイドレールにのせて使用します。単独では使用できません。KS-165などと組合せてください。
- オーバーテーブルに添付されている、取扱説明書も必ずお読みください。



- ベッドの背あげ・膝あげを行う場合は、テーブルをベッドから外してください。テーブルとベッドの間などにはさまれて、けがをするおそれがあります。

■キャスター、ハイトスペーサー



ゆかからボトム面までの高さ

KQ-39	25cm~58cm
KQ-029	29.2cm~62.2cm
KQ-028	



- キャスター (KQ-39・KQ-029) はロングおよび延長フレームを取付けたベッドには適合しません。
- キャスター (KQ-029)、ハイトスペーサーを使用した場合、ゆかからボトム面までの高さが約4.2cm高くなります。
- 各オプションに添付されている、取扱説明書も必ずお読みください。

15 介護リフト使用時のご注意

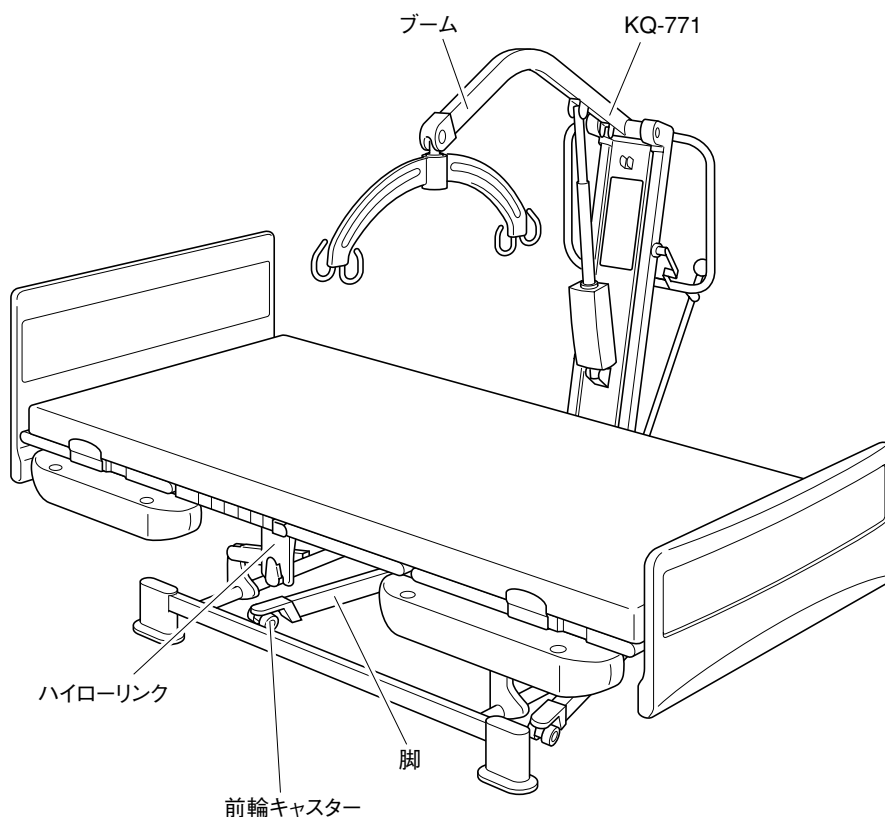
■下記の床走行式電動介護リフトが使用できます。

●KQ-771（下図）

●KQ-770（KQ-028ハイトスペーサーまたは、KQ-029キャスターを使用してください。付属の脚座、およびKQ-39キャスターではKQ-770との併用はできません。）



●床走行式電動介護リフトに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。



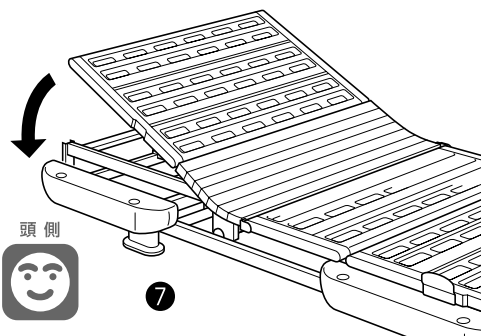
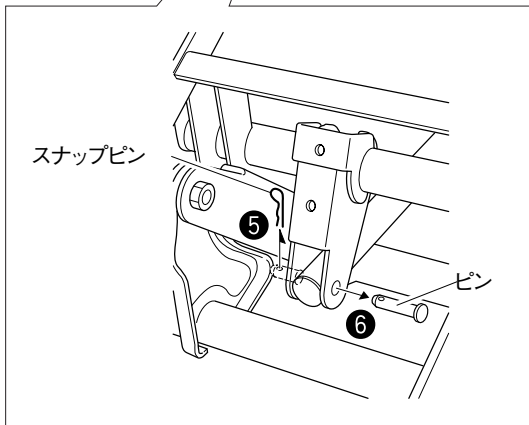
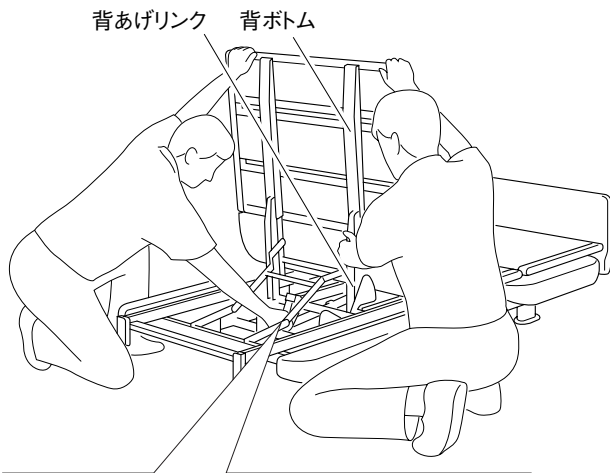
けい
こく
警告

●ベッドをあげるとき、ブームをさげるときは、ベッドとブームの間にはさまれてけがをするおそれがありますので、十分注意してください。

●ベッドの高さをさげるときは、ハイローリンクに脚や前輪キャスターをはさまないように注意してください。はさまれるとけがや破損のおそれがあります。

16 手動による背さげ操作(停電・故障時などの対応)

1. 背さげのしかた



■楽匠ベッドは、停電時やベッドの故障により背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。

背さげ操作は、以下の手順で行ってください。停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、51ページの「故障かな?と思ったら」に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店もしくはパラテクノコールセンター(62ページ参照)までご連絡ください。



- 作業は必ず2人以上で行ってください。
- 手や腕をはさまないように注意して行ってください。

- ①コンセントからベッドの電源プラグを抜いてください。
- ②療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。
- ③ヘッドボードを取外してください。
- ④背ボトムと背あげリンクを支えてください。
- ⑤ピンについているスナップピンを取外してください。
- ⑥ピンを取外してください。ピンを取外すと背あげリンクが自由に動くようになります。



- 外したピンおよびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。

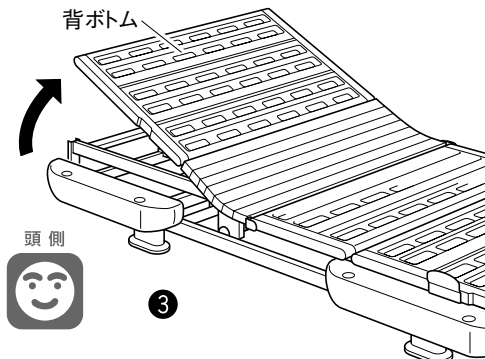
- ⑦背あげリンクを手で支えながら背ボトムを降ろしてください。
- ⑧ヘッドボードを取付けてください。



- この作業を行ったときは、復帰作業を行って元の状態に戻すまで電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

16 手動による背さげ操作(停電・故障時などの対応)

2.戻しかた

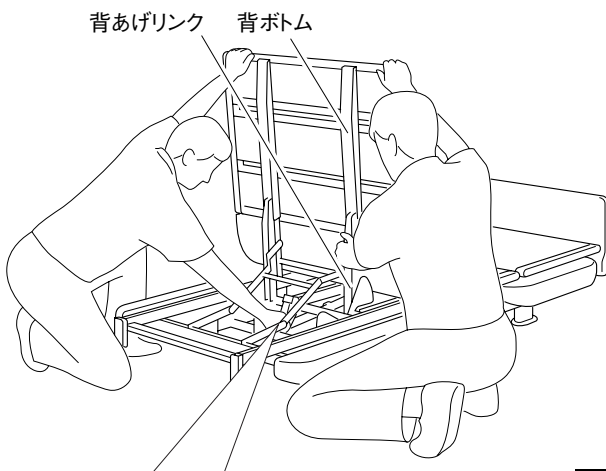


■停電の時には、電源が回復した後に、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、42～43ページの「組立て後の点検」に従い点検を行ってください。



●作業は必ず2人以上で行ってください。

使用する部品 | 外したピン、スナップピン各1本



①療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。

②ヘッドボードを取外してください。

③背ボトムと背あげリンクを持ちあげ、支えてください。

④外してあったピンを差込んでください。

●必ず図の方向から差込んでください。

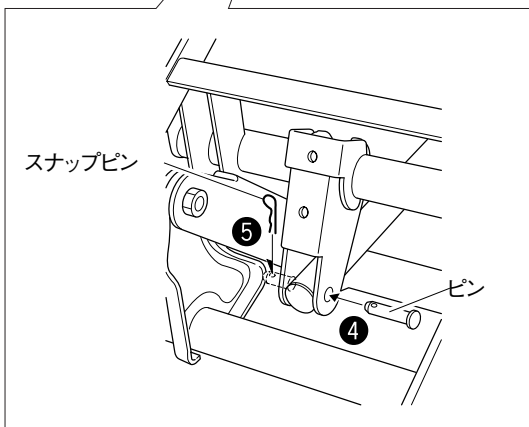


⑤ピンが抜けないようにスナップピンを差込んでください。

⑥ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。

⑦手元スイッチを操作して背ボトムを一番下までさげてください。

⑧ヘッドボードを取付けてください。



警告



■お手入れは電源プラグを抜いて行ってください。

- 誤操作によるはさまれを防止するため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■水をかけないでください。

- ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電のおそれがあります。

■ベッド本体

- 清拭する場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭き、その後水で浸した布をよくしぼって残った洗剤分を拭き取ってください。最後に乾いた布で拭き取ってください。

※揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）は使用しないでください。



■サイドレール、介助バー、オーバーテーブル

- 上記ベッド本体のお手入れと同様に行ってください。

■サイドサポート

- サイドサポートに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

■マットレス

- マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

18 故障かな？と思ったら

■故障でない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。

■チェックをしても正常に動作しない場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはパラテクノコールセンター（62ページ参照）まで修理をご依頼ください。

■地震・火災・水害等で被災したベッドは販売店に点検・修理をご依頼ください。

漏電による感電や異常動作によってけがをするおそれがあります。

■エラーコードは、らくらくモーションスイッチのみ表示します。

■下記以外エラーコードが表示される場合は、パラテクノコールセンター(62ページ参照)まで連絡してください。

手元スイッチの状態 (症状)	電源ランプの 点滅の早さ	エラーコード	チェック	処 置
●手元スイッチの電源ランプが消えている。	—	—	●コンセントに電気がきていますか？	●コンセントに他の電気機器のプラグを差込んで、電気がきているかを確認してください。
			●電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに差込んでください。
			●手元スイッチのコネクターが外れていませんか？	●手元スイッチのコネクターを、コントロールボックスの手元スイッチ差込部に確実に差込んでください。
●手元スイッチの電源ランプがボタンを押しただけ点滅する。	遅い点滅 (1秒毎)	U3、U4	●連続使用しましたか？ (アクチュエーターが過熱すると、止まる可能性があります。)	●約20分放置して、アクチュエーターが冷えるのを待ってください。 保護機能が働いたため、故障ではありません。 (完全に冷える前に操作をしますと、再度点滅状態になります。 完全に冷えるまで放置してください。)
			U1	●可動部分に障害物はありませんか？
	早い点滅 (0.2秒毎)	H4	●アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	●アクチュエーターのコネクターを差しなおしてください。
●手元スイッチの電源ランプが点滅する。	遅い点滅 (1秒毎)	U2	●ベッド上で電子治療器などを使用しませんでしたか？	●電子治療器などを使用する場合は、ベッドの電源プラグを抜いてからご使用ください。通信状態の異常を検知する保護機能が働いたため、故障ではありません。

●修理のご依頼やお問合せの際は、製品識別ラベル（28～29ページ参照）に表示された番号もあわせてご連絡ください。

保 管

■長期にわたりベッドをご使用にならないときは、下記の点にご注意ください。

- 高温・多湿・ほこりの多い場所を避けてください。温度-10℃～50℃、湿度30～90%RHの環境で保管してください。
- 取扱説明書を紛失しないよう、大切に保管してください。

1.組みあがった状態でベッドを保管する場合

- 背ボトム、足ボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低位置までさげてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものをのせないでください。
- マットレスの上には何ものせないでください。
- ベッドは壁に立て掛けたりせず、ゆかに水平のまま保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて、はさんだり踏んだりしない場所に東ねておいてください。

2.分解して保管する場合

(ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。)

- 53～60ページの分解の手順に従って行ってください。
- ※使用を再開する場合は、42～43ページの手順に従って点検を行ってください。

移動 (移設)

1.組みあがった状態でベッドを移動(移設)させる場合

- 背や腰を痛めないよう、少なくとも4人で運んでください。
- ベッドで療養している方、寝具、マットレス、オプション(サイドレール、介助バーなど)は降ろしてください。
- アクセサリ一枠を持って移動させてください。
- 手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損、キズから守るため東ねてベッド本体に固定して運んでください。

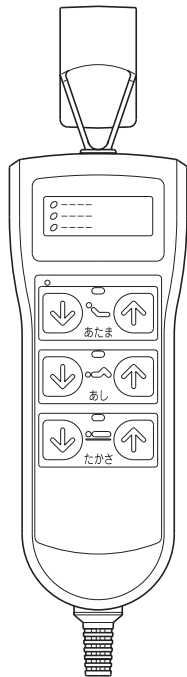
2.分解して移動(移設)させる場合

(ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。)

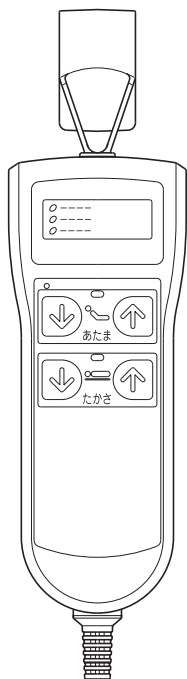
- 53～60ページの分解の手順に従って行ってください。
- ※使用を再開する場合は、42～43ページの手順に従って点検を行ってください。

販売店に依頼することをお勧めしますが、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

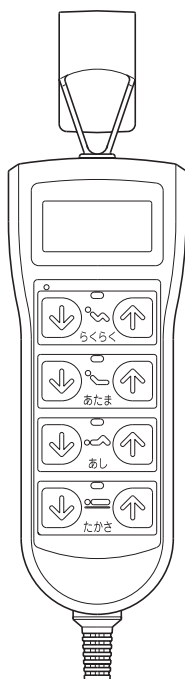
手元スイッチ



(3モータースイッチ)



(2モータースイッチ)



(らくらくモーションスイッチ)

1. オプション・寝具の取外し

- ① ベッドのオプション（オーバーテーブル、サイドレールなど）をベッドから取外してください。
- ② 寝具をベッドから降ろしてください。
- ③ マットレスをベッドから降ろしてください。

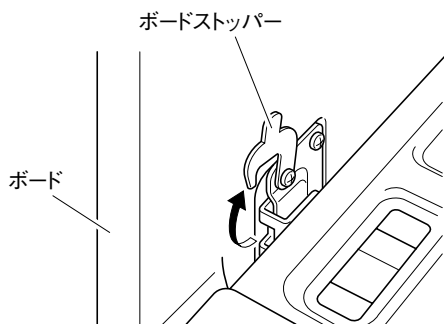
2. 手元スイッチの操作

- ① 電源プラグをコンセントに差込んでください。
- ② ベッドの高さを最低位置までさげてください。
- ③ 足ボトムを最低位置までさげてください。
(らくらくモーション、3モータースイッチのみ)
- ④ 背ボトムを約40°まであげてください。
- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜いてください。



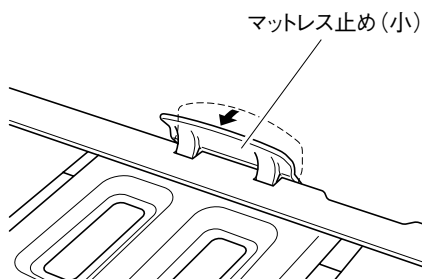
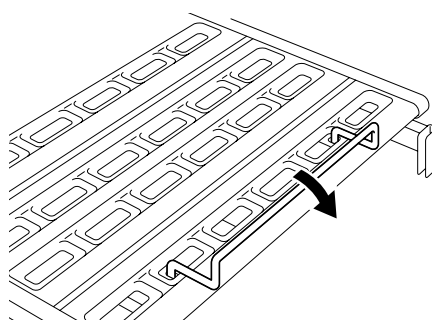
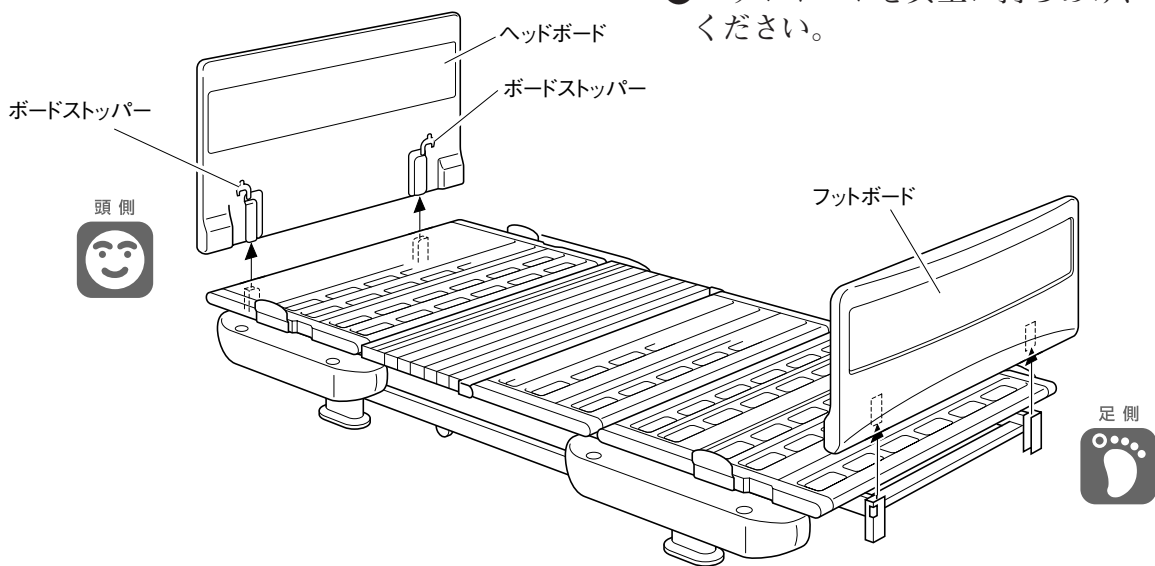
けい こく
警告

- ベッドの分解は、必ずベッド高さを下げた状態で行ってください。ベッドがあがった状態で分解しますと、部品の落下などで思わぬけがや故障のおそれがあります。



3.ヘッドボード・フットボードの取外し

- ①ヘッドボード左右のボードストッパーを外してください。
- ②ヘッドボードを真上に持ちあげ、取外してください。
- ③フットボード左右のボードストッパーを外してください。
- ④フットボードを真上に持ちあげ、取外してください。



4.マットレス止めの取外し

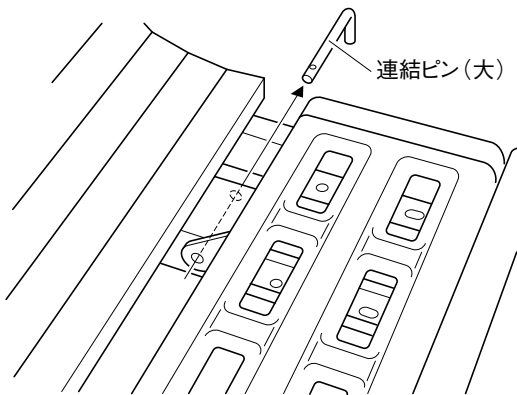
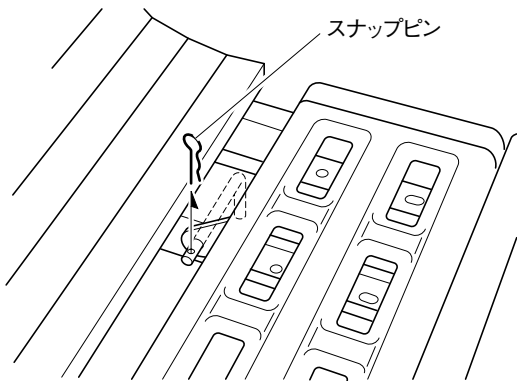
- ①マットレス止め(大)の先端を内側に押しながら真上に持ちあげ、欠き部とボトムの長穴を外してください。
- ②図のようにマットレス止め(大)を傾けながら真上に持ちあげて取外してください。
- ③マットレス止め(小)を内側に倒してください。
- ④マットレス止め(小)を真上に持ちあげ、取外してください。(背ボトム、足ボトム左右各1カ所)

5. 足ボトムを取り外す

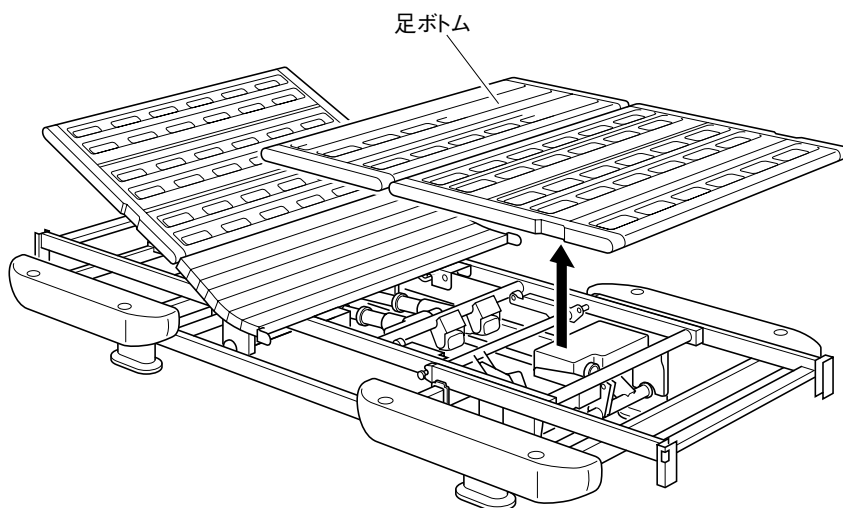
① スナップピンを抜いて、足ボトムと駆動部を連結している連結ピン(大)を抜き取ってください。



● 取外した連結ピン(大)・スナップピンは紛失しないように保管してください。



② 足ボトムを取り外してください。

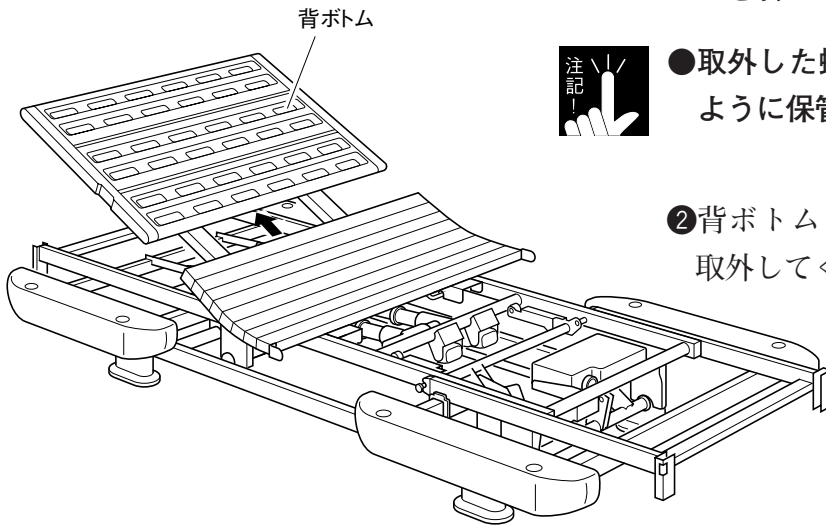


6.背ボトムの外し

- ①背ボトムの裏の蝶ナットを外し、蝶ボルトを引いて取り外してください。



- 取り外した蝶ボルト・蝶ナットは紛失しないように保管してください。

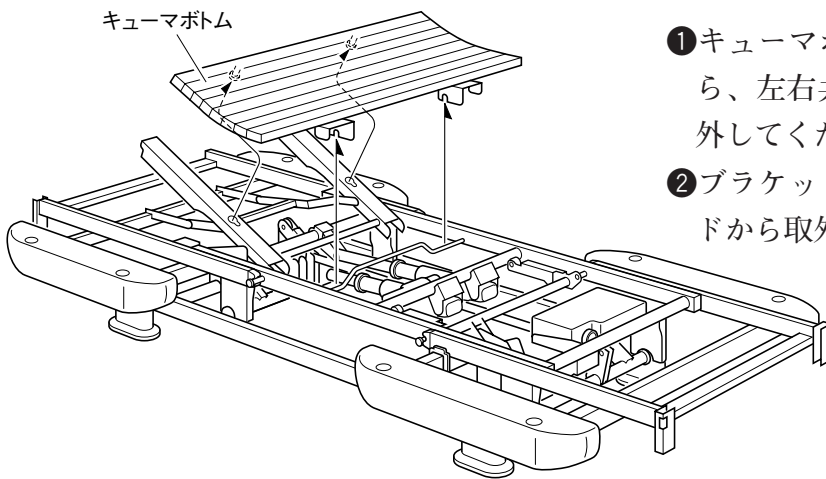


- ②背ボトムをリトラフレームから持ち上げ、取り外してください。

7.キューマボトムの外し

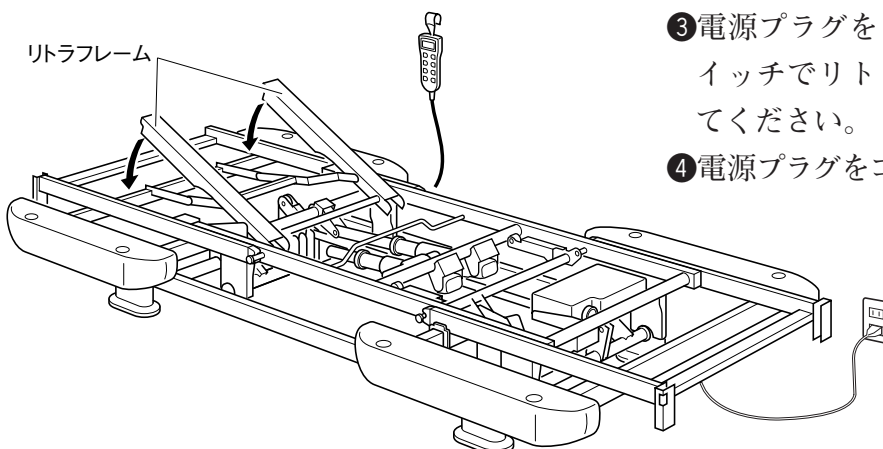
- ①キューマボトムをベッドの頭側に引きながら、左右共、ボスをリトラフレームから取り外してください。

- ②ブラケットの溝を、左右共、駆動部のロッドから取り外してください。



- ③電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチでリトラフレームを一番下まで下げてください。

- ④電源プラグをコンセントから抜いてください。

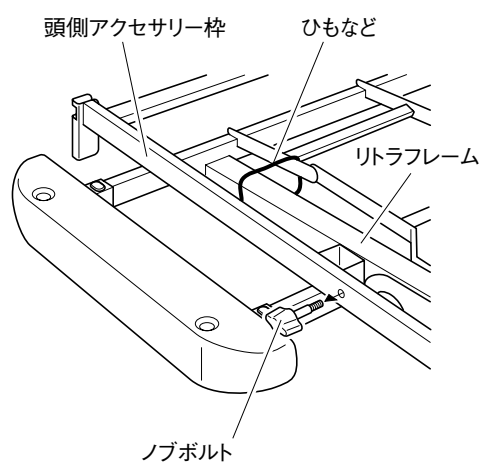


8. アクセサリー枠の取外し

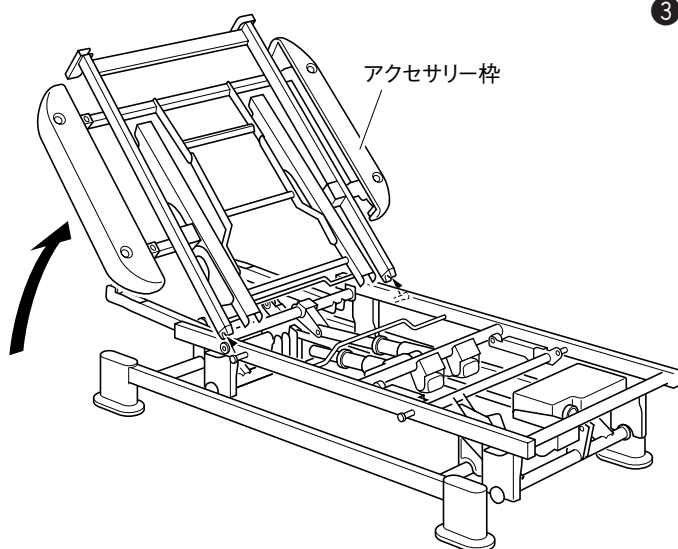
① アクセサリー枠と駆動部を固定しているノブボルトを、取外してください。(6カ所)



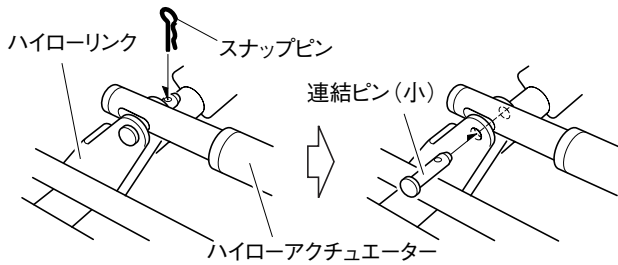
② 取外したノブボルトは紛失しないように保管してください。



② 左図のようにして、頭側アクセサリー枠のリトラフレームをひもなどで固定してください。



③ アクセサリー枠を駆動部から取外してください。



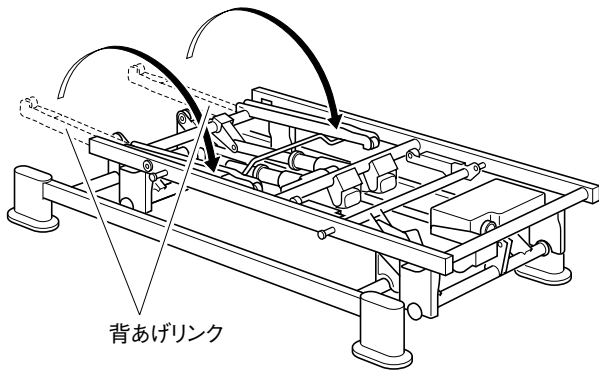
9. 駆動部の取外し

- ① スナップピンを抜いて、ハイローアクチュエーターとハイローリンクを連結している連結ピン(小)を取外し、ハイローアクチュエーターをひもなどで固定してください。
- 取外した連結ピン(小)、スナップピンは紛失しないように保管してください。

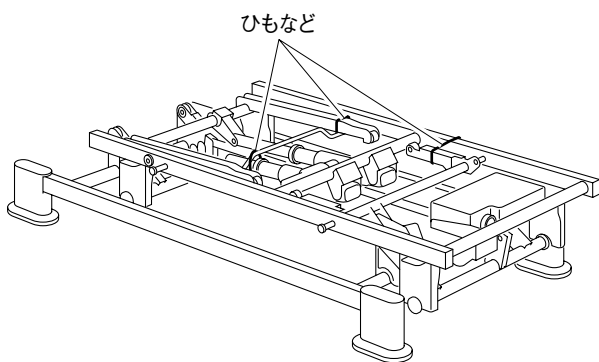


らくらくモーション・3モーターシリーズ

- ② 背あげリンクを回転させて内側に入れて、背あげリンクをひもなどで固定してください。

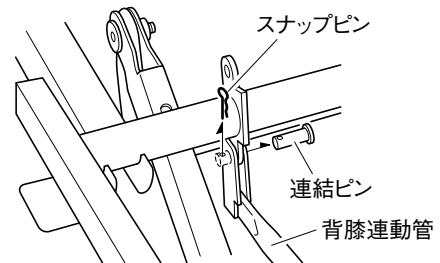


- ③ 膝あげリンクをひもなどで固定してください。

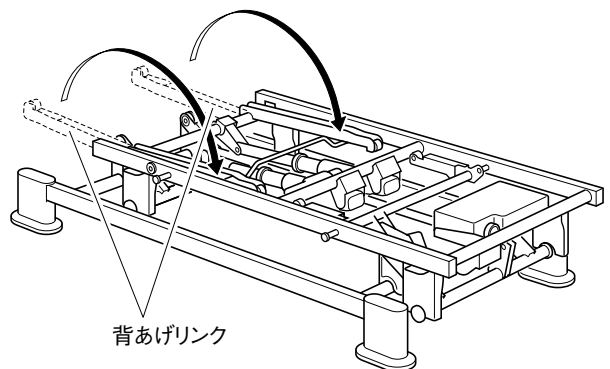


2モーターシリーズ

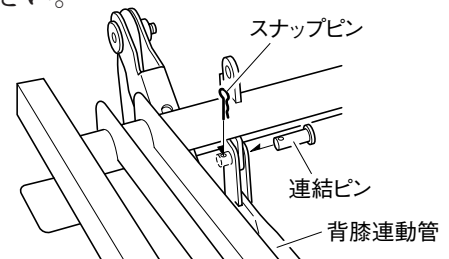
- ② 背膝連動管の先端(頭側)を連結している連結ピンとスナップピンを取外してください。



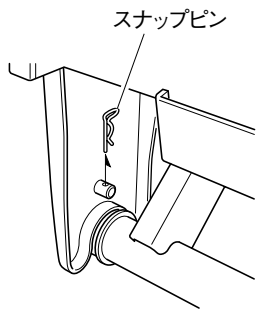
- ③ 背あげリンクを回転させて内側に入れて、背あげリンクをひもなどで固定してください。



- ④ 背膝連動管の先端(頭側)と背あげリンクを②で取外した連結ピンとスナップピンで連結してください。



20 ベッドの分解方法

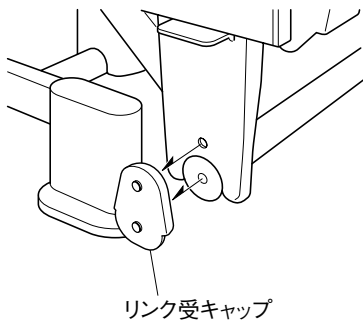


⑤ ハイローリンク受裏側のスナップピンを取外してください。(4カ所)

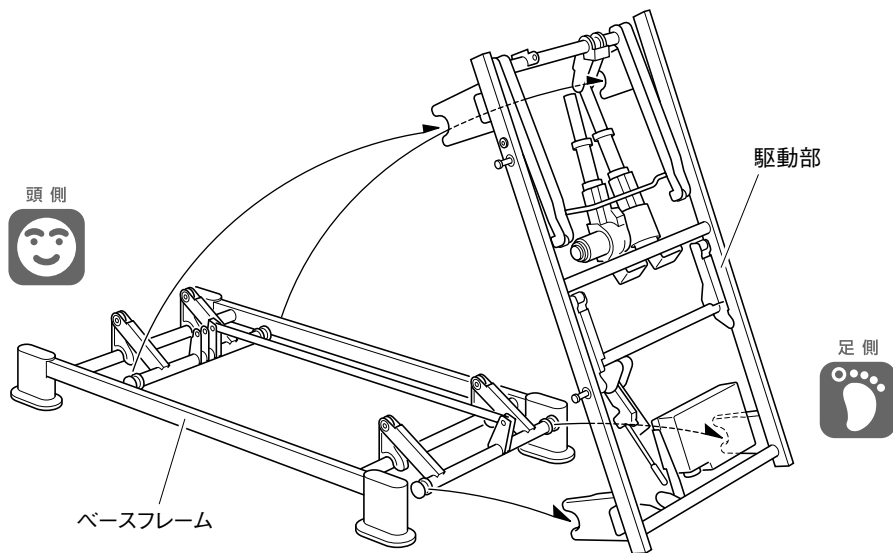
⑥ リンク受キャップを取外してください。(4カ所)



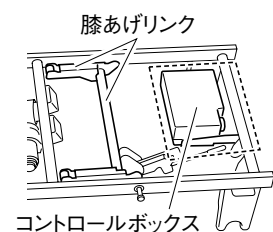
● 取外したリンク受キャップ、スナップピンは紛失しないように保管してください。



⑦ 図のように駆動部を持ちあげ、ベースフレームから取外してください。



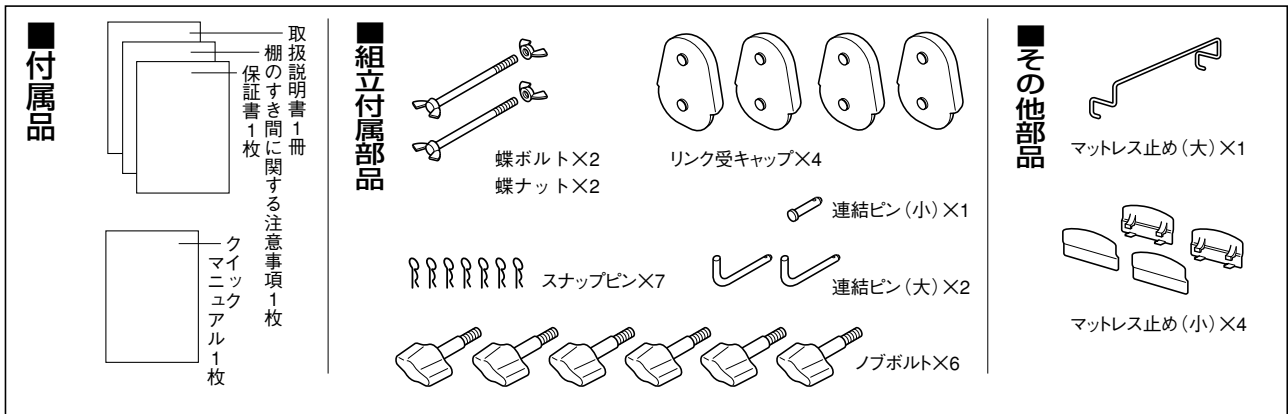
● 膝あげリンクやコントロールボックス周辺部を持って運搬や分解を行わないでください。けがや破損の原因となります。



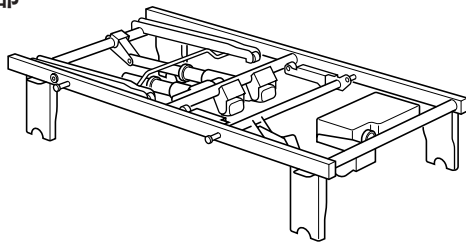
10. 付属部品と分解したユニットの保管

■ 付属品、組付部品、その他部品の保管

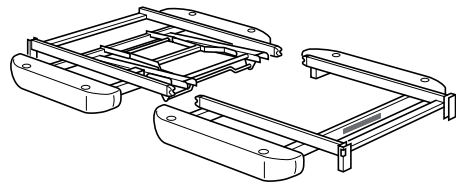
ベッドを分解した後、本取扱説明書および下記の組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて駆動部と一緒に保管してください。



① 駆動部



② アクセサリー枠

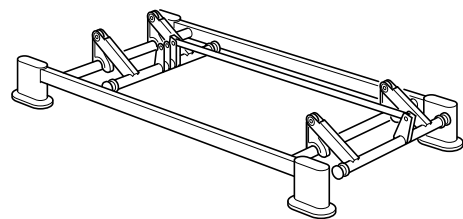


● 手元スイッチ、電源コードを束ねて上記の付属部品と一緒に保管してください。

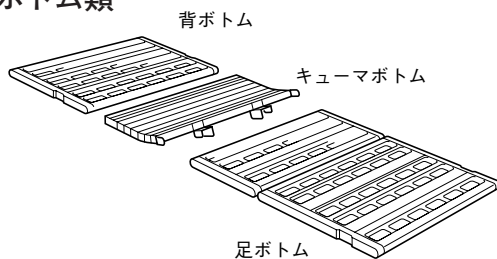
● 梱包するときは、取扱説明書、付属品などが梱包されていることを見やすい所に明記しておく、後日開梱するときに便利です。

● ロングサイズのベッドをご使用の場合は、ロング用のマットレスとマットレス止めも保管してください(29ページ)。

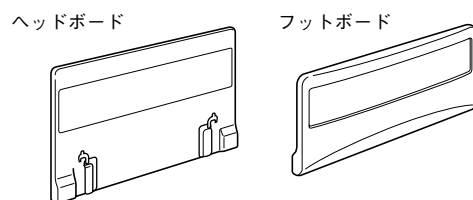
③ ベースフレーム



④ ボトム類



⑤ ボードセット



● ボードを重ねるときは、金具でボードが傷つかないようにあてものをしてください。



● キューマボトムは逆に曲げないように取扱ってください。

21 アフターサービスについて

1.保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよく読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

日付の記入が無い場合は、ベッドお買い上げの領収書を保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼される時

取扱説明書の「18.故障かな?と思ったら」(51ページ)にしたがって調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター(62ページ参照)にご連絡ください。

■連絡していただきたい内容(ラベルの貼付位置は28、29ページ参照)

●品名、品番、製品識別表示ラベルの番号

品番

品名

保証書

品名	保証	品番	KO#□□□□
保証期間	1年間	保証対象	本体

取扱説明書

PARAMOUNT BED

取扱説明書

7F06205100A1

在宅ケアベッド 楽匠

製品識別表示ラベル

パラマウントベッド株式会社

まえがき

このたびは、在宅ケアベッド楽匠をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立・分解の方法や使用方法などが記載されています。

- ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお客様になった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社までお問合せください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

保証規定

- 本保証は、本製品に付属の保証書に記載の事項に準じて適用されます。
- 本製品の修理、交換、部品交換は、本製品の保証範囲内で行われます。
- 本製品の修理、交換、部品交換は、本製品の保証範囲内で行われます。
- 本製品の修理、交換、部品交換は、本製品の保証範囲内で行われます。
- 本製品の修理、交換、部品交換は、本製品の保証範囲内で行われます。

パラマウントベッド株式会社 〒156-8520 東京都目黒区東目黒1-14-8

●お買い上げ日

●故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

●お名前、ご住所および電話番号

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

ただし保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間がすぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げ販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問合せください。

コールセンター ☎0120-54-8639

受付時間 平日9：00～17：20（土・日・祝日・夏季休業・年末年始休業を除く）

■パラテクノ株式会社について

弊社製品の修理や保守点検等の各種サービスを実施する、弊社100%出資の会社です。

本 社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	東京営業部	☎(03)3648-1171 (代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11		☎(011)271-1181 (代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3		☎(022)239-5211 (代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号		☎(048)852-0707 (代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間1715番地1		☎(042)795-8800 (代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号		☎(052)963-0600 (代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号		☎(06)6443-8791 (代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号		☎(082)293-1311 (代)
高松支店	〒761-8031	高松市郷東町223番1		☎(087)881-8800 (代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号		☎(092)461-1131 (代)

 **PARAMOUNT BED**